資料 3-1

－　令和8(2026)年度版　－

第３次上尾市図書館サービス計画
事業計画及び進捗状況報告書

【計画期間:令和3年度～令和7年度】

上尾市教育委員会教育総務部図書館

ー　報告書の構成・評価について　ー

本報告書は、『第3次上尾市図書館サービス計画』の「第4章 計画の推進体制」に則って、計画の進捗を管理し、図書館の運営状況の評価を行うものです。
評価の内容は、『図書館の設置及び運営上の望ましい基準』（平成24年12月19日文部科学省告示第172号）に基づき、自らの点検及び評価と、第三者による評価を実施します。

(1)報告書の構成

本報告書は、「進捗管理一覧表」と「進捗管理シート」で構成しています。

①進捗管理一覧表

基本方針ごとにサービス計画項目の自己点検評価の結果を一覧表示し、基本方針別の達成水準を示します。また、図書館協議会による第三者評価実施後は、その内容について掲載します。

②進捗管理シート

サービス計画項目（30項目）の年度ごとの事業計画概要を掲載するとともに、自己点検評価後はその実施状況、分析の結果についても掲載します。また、各計画項目の計画期間内での達成水準（進捗率）を示します。

(2)自己評価の基準

自己点検評価については、実施状況と分析の結果を5段階で評価します。この値を百分率に置き換えたものを積み上げ、計画期間内（5年間）におけるサービス計画項目の達成水準としています。

【評価基準（5段階）】

4：	計画通りに実施し、期待通りの効果が得られた。
3：	計画の一部変更により実施し、概ね期待通りの効果は得られた。
2：	計画通り又は一部変更により実施し、効果が期待値を下回る。
1：	計画通り又は一部変更により実施し、効果が期待値を大幅に下回る。
0：	未実施又は実施不能により、効果が得られない。

※評価1段階につき5%=1/4

第3次上尾市図書館サービス計画　進捗管理一覧

基本方針Ⅰ　図書館の基本機能の充実

項　目		自己点検評価の結果							頁
		計画項目別達成水準	R3	R4	R5	R6	R7	計	
1.1.	図書館資料の収集等	85.0%	3	4	4	4	2	17	1
1.2.	図書館資料の組織化	80.0%	3	3	4	3	3	16	2
1.3.	貸出	100.0%	4	4	4	4	4	20	3
1.4.	閲覧	90.0%	4	3	3	4	4	18	4
1.5.	予約・リクエスト	65.0%	1	4	2	3	3	13	5
1.6.	複写	80.0%	4	3	3	2	4	16	6
1.7.	行政関係	60.0%	1	4	4	1	2	12	7
－	基本方針Ⅰ全体	80.0%	20	25	24	21	22	112	

総合評価（第三者評価）

令和3年度	全体の達成水準は14.3%と計画全体の平均をやや下回る。電子図書館サービスを開始したこと、本館新聞閲覧コーナーが採光の良い2階へ移動し、図書館の座席数が増えたことから、1.3.貸出、1.4.閲覧の項目において達成水準20%となった。一方、モニタリング結果からは必ずしもこの取組が市民満足度に結びついていないため、引き続き、市民の意見を反映した改善が必要である。
令和4年度	全体の達成水準は32.1%であり、計画全体からみるとやや低い結果であるが、閲覧環境の充実(計画項目1.4)のため書架の照明改善を図った結果、館内の快適さにおいて、モニタリング結果で「満足・ほぼ満足」が6割以上を占めたこと、またリクエスト制度の周知（同1.5）等により、予約・リクエスト利用状況が増加していることは評価できる。今後は電子書籍のさらなる認知度UPなど、SDGsに配慮した取り組みを一層推進するよう期待する。
令和5年度	全体の達成水準は49.3%であり、計画全体から見るとやや低い結果であった。予約・リクエスト(計画項目1.5)において目標達成に至らなかったが、他市の状況も踏まえ改めて構築すべきである。モニタリング調査では館内の快適さについて「満足・ほぼ満足」が約66%と増加した一方で、本や雑誌の冊数については「満足・ほぼ満足」が微減した。利用者のニーズを的確にとらえるとともに、展示の取り組みを工夫するなど豊かな読書活動のきっかけとなる本との出会いを創出するよう期待する。
令和6年度	全体の達成水準は64.3%であり、計画全体から見るとやや低い結果であった。行政関係(計画項目1.7)において目標達成に至らなかった原因として、行政資料の紙から電子化という環境変化に対する方針が固まっていないことが考えられる。全国的な課題でもあり、上尾市図書館におけるルールづくりに早急に着手する必要があると思われる。
令和7年度	

第3次上尾市図書館サービス計画　進捗管理一覧

基本方針Ⅱ　多様なニーズに応えるサービスの提供

項　目		自己点検評価の結果							頁
		計画項目別達成水準	R3	R4	R5	R6	R7	計	
2.1.	レファレンスサービス	85.0%	4	3	3	3	4	17	8
2.2.	レフェラルサービス	80.0%	2	3	3	4	4	16	9
2.3.	情報検索サービス等	75.0%	2	4	4	3	2	15	10
2.4.	ビジネス支援	90.0%	3	4	4	3	4	18	11
2.5.	子育て・教育	90.0%	3	4	3	4	4	18	12
2.6.	健康・医療、福祉	75.0%	1	4	4	3	3	15	13
2.7.	法律・司法手続き	95.0%	3	4	4	4	4	19	14
2.8.	高齢者サービス	90.0%	3	3	4	4	4	18	15
2.9.	障害者サービス	75.0%	1	4	4	2	4	15	16
2.10.	多文化サービス	80.0%	4	4	3	2	3	16	17
―	基本方針Ⅱ全体	83.5%	26	37	36	32	36	167	

総合評価（第三者評価）

令和3年度	全体の達成水準は13.0%と計画全体の平均を下回る。レファレンスについては、ホームページ上に「調べる・相談する（レファレンス）」のバナーを設けたことで個々人の調べもののしやすさは、向上したと思われる。しかし、モニタリング結果からは認知度が低いため、図書館の役割を理解してもらえるような周知が必要である。多文化サービスについては、本館2階に多文化コーナーを設置した。取り組みは評価に値するが、引き続き、上尾市在住の外国人の特徴をとらえた資料収集及びサービスの周知が課題である。
令和4年度	全体の達成水準としては31.5%であるが、今年度に限れば、多くの項目で評価が上昇している。レファレンスサービス(計画項目2.1)については目標としていたPR回数には達しなかったが、アウトプットとしての利用件数からは達成していると判断できる。また、障害者サービス(同2.9)、多文化サービス(同2.11)については特に声が届きにくい層であることから、ニーズの把握とともに周知及び充実の施策が求められる。引き続き丁寧に取り組まれたい。
令和5年度	全体の達成水準としては49.5%となった。障害者サービス(計画項目2.9)において、上尾市図書館りんごの棚を設置し目標以上に利用される成果をあげた。全体的に見るとレファレンスサービス(計画項目2.1)、多文化サービス(計画項目2.10)において目標達成に至らず、周知を含めた新たな取り組みが求められる。
令和6年度	全体の達成水準としては65.5%となった。レファレンスサービス(計画項目2.1)において、市民アンケートでは、周知度が低かったため、更なる周知が必要である。障害者サービス(計画項目2.9)では上尾市図書館りんごの棚を本館に続き、上尾駅前分館に設置することができた。公共図書館として有効な取り組みであり、さらなる周知が必要である。多文化サービス(計画項目2.10)においては、来年度、日本語学校に通う外国籍の生徒に対するより積極的な取り組みが展開できると良い。
令和7年度	

第3次上尾市図書館サービス計画　進捗管理一覧

基本方針Ⅲ　市民の学びと活動の支援

項　目		自己点検評価の結果							頁
		計画項目別達成水準	R3	R4	R5	R6	R7	計	
3.1.	乳幼児・保護者サービス	95.0%	3	4	4	4	4	19	18
3.2.	児童サービス	100.0%	4	4	4	4	4	20	19
3.3.	青少年サービス	100.0%	4	4	4	4	4	20	20
3.4.	子供の読書活動支援	75.0%	3	3	3	3	3	15	21
3.5.	若者の自立支援	85.0%	1	4	4	4	4	17	22
3.6.	学習活動の支援	95.0%	4	4	4	3	4	19	23
3.7.	情報活用能力向上支援	95.0%	4	4	4	4	3	19	24
3.8.	ボランティア活動支援	70.0%	3	2	3	2	4	14	25
―	基本方針Ⅲ全体	89.4%	26	29	30	28	30	143	

総合評価（第三者評価）

令和3年度	全体の達成水準は16.3%と計画全体の平均を上回る。読書パスポートの説明動画配信、積極的な青少年向け電子書籍の購入、放課後子供教室を通した公民館との連携など、子供や若者が図書館に来なくても、身近な場所で読書推進が図れるような事業を新規に展開したことは評価に値する。一方で、モニタリング結果から青少年の電子書籍利用が少ないことがうかがわれるため、子供や若者をターゲットとして、引き続きサービスの周知を行うことが必要である。
令和4年度	全体の達成水準は34.4%であり、計画全体の平均を上回る結果となった。特に児童サービス(計画項目3.3)における読書パスポートの事業は今後上尾市が「子どもの読書活動」を推進する上での礎であることから、地域・学校と連携し一層の充実を期待するものである。また、青少年向けの電子書籍の収集、中高校生に向けたイベントの開催など、年齢が上がっても読書離れを食い止める仕掛けをさらに展開されたい。
令和5年度	全体の達成水準は53.1%と計画全体の平均を上回り、子どもの読書に係る施策(計画項目3.4)等をはじめ着実に実施されている。若者の自立支援(計画項目3.5)において9月に駅前分館にYYコーナーを設置し、主に高校生向けの図書資料を排架した。モニタリング調査では知っている人の割合が34%であり、今後りんごの棚を含め、学校との連携等、あらゆる機会を捉えた周知が期待される。
令和6年度	全体の達成水準は70.6%と計画全体の平均を上回っている。青少年サービス(計画項目3.3)では、令和5年度に駅前分館に青少年コーナーを新設したことで、青少年向け図書の貸出が伸びている。駅を利用する学生や、駅前の学習塾に通う中高生を主な対象としており、読書離れを防ぐためにも、より多くの若者にこのコーナーの存在を周知していくことが重要である。情報活用能力向上支援(計画項目3.7)では、講座を開催したが、市民アンケートではオンラインデータベースの認知度が低いため、さらなる周知が必要である。
令和7年度	

第3次上尾市図書館サービス計画　進捗管理一覧

基本方針Ⅳ　時代に合わせた環境整備

項　目		自己点検評価の結果							頁
		計画項目別達成水準	R3	R4	R5	R6	R7	計	
4.1.	学習活動環境の整備	80.0%	3	3	4	4	2	16	26
4.2.	運営	70.0%	3	3	3	3	2	14	27
4.3.	職員体制	100.0%	4	4	4	4	4	20	28
4.4.	施設・設備	100.0%	4	4	4	4	4	20	29
4.5.	安全管理	100.0%	4	4	4	4	4	20	30
―	基本方針Ⅳ全体	90.0%	18	18	19	19	16	90	

総合評価（第三者評価）

令和3年度	全体の達成水準は18%と計画全体の平均を上回る。コロナ禍において安定した開館を継続するための取り組みとしての書籍の清拭作業やサーマルカメラの設置は評価に値する。その他、全項目においておおむね計画通りに実施できていると判断するが、今後は施設の老朽化対策の具体化や第3の居場所「サードプレイス」としての空間づくりなど、利用者のニーズを十分に精査するべきである。また、コロナ禍における新しい生活様式をも踏まえたサービスの展開も必要である。
令和4年度	全体の達成水準は36%と計画全体の平均を上回っており、全項目においておおむね計画通りに実施できている。学習スペースのリニューアルや新たなスタイルの座席の設置（計画項目4.1）、ICT設備の導入としてデジタルサイネージの獲得に繋げたことは（同4.2）、今までにない空間づくりの創出として評価に値する。また、図書館の大きな取り組みの一つである本館の更新方針の策定に当たっては、図書館利用者の意見に留まらず、学校施設更新計画など多角的な視点を取り入れようとする姿勢は評価できる。（同4.5）。
令和5年度	全体の達成水準は55%と計画全体の平均を上回っている。5項目中4項目において自己点検評価は満点であり、各項目の実施状況からみても一定の達成水準を満たしていると評価できる。唯一、満点に満たなかった1項目（計画項目4.2）、ICTの活用としてのデジタルサイネージの運用および図書館システムの更改については、いずれも令和6年度、継続事業として目標に掲げていることからも令和5年度に課題として残された部分の解消に取り組んで欲しい。
令和6年度	全体の達成水準は74%と計画全体の平均を上回っている。全計画項目で高い達成率を維持しているものの唯一、計画項目4.2.においては、第3次サービス計画の初年から一度も満点に達していない。しかしながら、図書館システムの更改や図書館サービスの根幹である窓口業務委託の安定した運営管理など、この計画項目に掲げる方向性に対し、着実に遂行しているものとして評価できる。図書館本館更新の事業については、しっかりと市民の要望を分析し、可能な限り反映できるよう取り組んで欲しい。
令和7年度	

第3次上尾市図書館サービス計画　進捗管理一覧

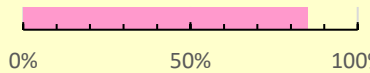
第3次上尾市図書館サービス計画全体								
項　目	自己点検評価全体の結果							
	計画項目別達成水準	R3	R4	R5	R6	R7	計	
基本方針全体	85.3%	90	109	109	100	104	512	

総合評価（第三者評価）	
令和4年度	全体の達成水準は15.0%であった。特に「基本方針Ⅳ　時代に合わせた環境整備」の全項目において計画通りの実施が行われた。また、「基本方針Ⅲ　市民の学びと活動の支援」においては、コロナ禍のなか、子供や青少年などに向けた新しい取組がなされたことは評価に値する。次回のモニタリングアンケートは、今年度の反省を踏まえて質問項目を精査し、市民の意見や要望の把握に努めてほしい。なお、達成水準の低い項目についても着実な推進を期待する。
令和4年度	全体の達成水準は33.3%であったが、今年度は多くの項目で評価が上がり、前年度を上回る結果を出した。特に「基本方針Ⅱ多様なニーズに応えるサービスの提供」において「健康・医療、福祉」「高齢者」への新しい取り組みは、図書館利用者層のニーズを捉えたものと評価する。これらの充実とともに、市民意識調査及び先進都市の事例を研究し、図書館を利用していない市民の利用促進に繋がる施策の展開を期待する。
令和5年度	全体の達成水準は51.5%であった。今年度は特に「基本方針Ⅱ多様なニーズに応えるサービスの提供」における障害者サービスに係る新しい取り組みは、読書バリアフリー法に準拠し、かつ時流に沿うものであり、高く評価できる。なお、ホームページやフェイスブック、Xなどを駆使する一方で、モニタリング調査結果を見ると事業の周知が行き届いていないと見受けられることから、今後学校との連携を視野に入れた新たな取り組みを検討されたい。
令和6年度	全体の達成水準は 68.0% であった。特に「基本方針Ⅳ　時代に合わせた環境整備」は計画通りに実施され、中でも図書館本館の更新方針の策定は高く評価される。今後、市民要望を充分に分析し、計画の具体化と着実な実施に繋げてほしい。また、「基本方針Ⅲ　市民の学びと活動の支援」では、児童サービス（計画項目3.2）や青少年サービス（計画項目3.3）は着実に実施されている。しかしながら、青少年サービス対象である高校生の不読率は、小・中学生に比して高い状況が続いていることから、読書に関心が持てるような取り組みが課題である。
令和7年度	

基本方針Ⅰ	図書館の基本機能の充実
計画項目	1.1.　図書館資料の収集等

計画項目別達成水準

85.0%（17/20）



方向性	図書館資料の収集は、予算やスペースの制約を考慮し、社会情勢や利用者のニーズと資料的価値との均衡を図りながら、資料収集方針等の見直しも選択肢として中長期的・計画的かつ各館の特徴にも配慮した蔵書構築を行います。また、郷土資料や地方行政資料については、地域情報の拠点という役割を果たすべく、市の関係部署や地域の関係機関、その他団体と連携を強化して体系的な仕組みを構築し、独自性のある地域情報を積極的に収集・保存します。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）優先順位順の電子書籍購入 **主な手段**：各分類の蔵書構成、読者層などを想定し、電子書籍の購入をする。 **目標**：優先順位順の分析	実施状況：定期的に予約ランキング・貸出ランキングをシステムから抽出し、人気のあるジャンルを分析して多く購入した。併せて図書館に足を運ぶ時間が取りにくいと考えられる読者層を想定し、レシピ本、ビジネス本、自己啓発本、青少年向け図書などを意識して購入した。 分析：計画どおり実行。モニタリング結果から、小説・エッセイ、実用書を電子図書館で求められていることが判明（希望ジャンルの割合の6割弱）。上記2ジャンルは意識して多く購入していく。	3/4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）優先順位順の電子書籍購入【継続】 **主な手段**：各分類の蔵書構成、読者層などを想定し、電子書籍の購入をする。 **目標**:分析及び利用者モニタリング結果をもとに購入 **（2）学校支援のための図書の収集** **主な手段**：「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のセット」を図書館に設置、希望校に配本する。 **目標**：30冊×18セット	実施状況：(1)電子書籍について、利用率や要望が高かった順に①小説・エッセイ(執行額の27.2%)、②くらし・すまい、料理(同20.7%)の資料を優先的に購入。 (2)「スイミー」「ごんぎつね」等3タイトル各6セットを図書館に設置及び希望する小学校に配本した。 分析：(1)要望が高い資料を優先的に購入。次年度以降、利用が見込まれる青少年層を中心に資料を充実するとともに積極的にPRを図る。 (2)計画どおりに実行。学校からのアンケート結果は概ね良好であったことから継続して取り組む必要がある。	4/4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）優先順位順の電子書籍購入【継続】 **主な手段**：電子書籍の利用が見込まれる青少年層をターゲットとした電子書籍の充実と周知を図る。 **目標**:電子書籍全体の1割 **（２）郷土資料のデジタル化** **主な手段**：「上尾市史」等の郷土資料をデジタル化し、上尾市電子図書館内に掲載する。 **目標**：６月末までに始動	実施状況：(1)令和5年度購入の電子書籍全体の1.5割を青少年向け資料で購入した。 (2)電子化予定の資料すべて公開完了。 分析：(1)目標を超える実績を達成。引き続き充実に努め、今後はさらに周知を強化していく。 (2)上尾市史等の主要な冊子はデジタル公開に至った。上尾市ホームページ等での広報も行っているが、他の効果的なPR方法についても引き続き検討する。	4/4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)分館の蔵書の見直し **主な手段**:大石分館の古い図書資料を順次入れ替え、魅力ある蔵書構築を行う。 **目標**:年度内に300冊を目途に実施 **(2)郷土資料のデジタル化【継続】** **主な手段**:郷土資料のデジタル化を推進し、上尾市電子図書館での活用を図る。 **目標**:年度内に掲載資料を3点選定し、デジタル化して電子図書館に掲載する。	実施状況：(1)大石分館で1,863冊受入し、1,288冊を除籍した結果、300冊以上を入れ替えを達成し、魅力ある蔵書構築につなげた。 (2)郷土資料について『上尾サイクル紀行』等3点をデジタル化し、電子図書館に掲載した。 分析：(1)目標を超える実績を達成。引き続き充実に努め、よりよい蔵書にしていく。 (2)目標は達成した。郷土資料のデジタル化は資料の保存性が向上し、時間と場所を問わず利用できる利点があるため、今後もデジタル化を進めていく。	4/4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)本館も含めた蔵書の見直し **主な手段**:古い図書資料を順次入れ替え、利用しやすい蔵書構築を行う。 **目標**:2月までに利用状況を精査し、2月までに全体の実施 **(2)郷土資料のデジタル化【継続】** **主な手段**:郷土資料のデジタル化を推進し、上尾市電子図書館での活用を図る。 **目標**:年度内に掲載資料を3点選定し、デジタル化して電子図書館に掲載する。	実施状況：(1)古い図書資料の入れ替えを平方分館、原市公民館図書室、大谷公民館図書室で行ったが、全館実施することはできなかった。 (2)郷土資料について『遺跡が語る上尾の歴史』等3点をデジタル化し、電子図書館に掲載した。 分析：(1)目標を達成することができなかった。仮本館移転に向けても蔵書の見直しが急務のため、来年度も引き続き行う。 (2)目標は達成した。郷土資料のデジタル化は保存性を高め、場所や時間を問わず活用できる。利用者にとって必要な資料を分析し、効果的に提供する。	2/4

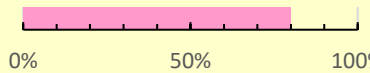
【計画期間評価】※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

令和3年度から令和7年度の電子書籍利用者数は2,919人、タイトル数33,097タイトル。上尾に関する資料の電子書籍登録数は41タイトルであった。上尾に関する資料の貸出数はコレクション別貸出数の中で比較的高いことから郷土資料のデジタル化は継続して行きたい。

基本方針Ⅰ	図書館の基本機能の充実
計画項目	1.2.　図書館資料の組織化

計画項目別達成水準

80.0%（16/20）



方向性	図書館資料の分類・目録作業は、『日本十進分類法（ＮＤＣ）』や『日本目録規則（ＮＣＲ）』等の最新情報に留意し、利用者の利便性向上に最も有効と考えられる基準を用いて書誌情報を最新に保つとともに、資料の扱いやすさや利用のしやすさに配慮した装備や排架を行います。また、図書館の資料保存機能に留意しつつ、除籍及び廃棄を適切に実施して書架表示にも配慮するなど利用者に分かりやすい書架の管理を行います。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）利用者が本を検索しやすい装備や排架 **主な手段**：利用者の利便性向上に最も有効と考えられる基準を用いる。 **目標**：セカンドライフコーナーに排架する本の装備、書架表示の変更	実施状況：コーナーに配置する本の背表紙シールを金色から緑色に変え、若々しいイメージにした。表示を新しくし、遠くからでもよくわかるようにした。 分析：計画どおりに実行。利用者の目につきやすくなり、セカンドライフコーナーの本を手にとってもらう機会が増えた。令和3年度受入れた資料が、6月1日現在セカンドライフコーナーの利用率が昨年度比の95%を超えている。コーナーの周知を含め、検討していく。	3/4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）NDC第10版の分類に応じた排架の見直し **主な手段**：分館の書架排架の見直しをする。 **目標**：蔵書整理期間・蔵書点検期間を利用して１分館を集中的に排架変更する。 **（2）別置特設コーナーのリニューアル** **主な手段**：利用者に閲覧・利用しやすくするため、モニタリング結果等を踏まえセカンドライフコーナーの再検討を行う。 **目標**：上半期までに結論	実施状況：(1)瓦葺分館について、0分類から9分類まで資料を並び直し、利用者にとって分かりやすい排架に変更した。 (2)モニタリング実施に代わりセカンドライフコーナーの利用状況を踏まえた選書を行い、閲覧及び利用しやすい環境を整備した。 分析：(1)計画どおりに排架し直すことで環境を整備した。引き続き、分館・公民館図書室の排架状況の改善を図る。 (2)セカンドライフコーナーの魅力ある排架に向け、引き続きニーズを把握し、適宜リニューアルを実施していく。	3/4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）NDC第10版の分類に応じた排架の見直し【継続】 **主な手段**：分館の書架排架の見直しをする。 **目標**：図書整理期間・蔵書点検期間を利用して１分館を集中的に排架変更する。 **（2）読書バリアフリーコーナーへの資料の排架** **主な手段**：新設する「本館読書バリアフリーコーナー」に排架する資料を選別し、従来のNDC分類による排架との差別化を図る。 **目標**：上半期までに実施	実施状況：(1)上平公民館図書室の排架変更を実施。利便性を考慮し、一般書・児童図書の配置を明確に区別した。また、書架内に広い展示スペースを作り、魅力ある棚づくりを行った。 (2)6月に読書バリアフリーコーナー「上尾市図書館りんごの棚」を本館に設置した。 分析：(1)計画どおりに排架し、読書環境を整備した。引き続き、分館・公民館図書室の排架状況の改善を図る。 (2)計画通りに実行。令和6年度には駅前分館で同様のコーナーを設置し、資料の充実と利用者の利便性向上を図る。	4/4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)閉架書庫の見直し **主な手段**:特別閉架及び分館等の閉架書庫の所蔵状況を見直し、適切な排架を行う。 **目標**:2月までに実施	実施状況：(1)特別閉架及び分館の閉架書庫の状況確認を実施し、閉架の蔵書を点検・整備が必要であった駅前分館について閉架書庫のスペースの見直しを行った。 分析：(1)分館閉架書庫のスペースを見直すことで、閉架資料であっても迅速に利用者に提供することが期待できる。また、特別閉架については、収蔵量に限りがあることから、除籍を含め、所蔵状況の精査を行い、引き続き、管理の適正化を図っていく。	3/4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)排架の見直し **主な手段**:特別閉架及び分館等の閉架書庫の所蔵状況を見直し、適切な排架を行う。 **目標**:2月までに実施	実施状況：(1)分館の開架、閉架書庫の状況確認を実施し、蔵書を点検・整備する必要があった原市公民館図書室等について開架、閉架書庫のスペースの見直しを行った。 分析：(1)分館閉架書庫のスペースを見直すことで、閉架資料であっても迅速に利用者に提供することが期待できる。また、特別閉架については、収蔵量に限りがあることから、除籍を含め、所蔵状況の精査を行い、引き続き、管理の適正化を図っていく。	3/4

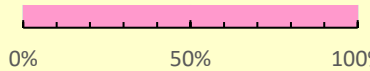
【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

セカンドライフコーナーでは、排架する本の装備、書架表示の変更、瓦葺分館・上平公民館図書室では、NDC第10版の分類に応じた排架の見直しを行った。また、本を読むことが難しい方に向けて、本館、上尾駅前分館、大石分館に読書バリアフリーコーナー（りんごの棚）を設置した。資料の扱いやすさや利用のしやすさに配慮した装備や排架を行った。

基本方針Ⅰ	図書館の基本機能の充実
計画項目	1.3.　貸出

計画項目別達成水準

100.0%（20/20）



方向性	利用者の資料要求に対し迅速に提供できる体制を構築するとともに、相互貸借を含めて他の公立図書館等との連携強化を図ります。また、自動貸出機・自動返却機などＩＣＴ設備の導入を含め、利用者にとって効率的で利便性の高い貸出・返却方法について調査・研究を進めるほか、非来館型サービスとして有望な電子書籍を導入します。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）電子図書館サービスの開始 **主な手段**：電子書籍を活用したサービスを導入し、非来館型サービスを充実を図る。また、他サービスの強化にもつなげる。 **目標**：年度内のサービス開始 **（2）書籍消毒器の設置** **主な手段**：本館及び分館（室）に書籍消毒器を設置し、コロナ禍における貸出の安全性を高める。 **目標**：9館全館への設置	実施状況	(1)電子図書館サービスは、令和3年9月1日に開始。年度末実績は、新規利用者が1,198名、貸出数が7,621タイトルであった。 (2)書籍消毒器は、令和3年7月上旬迄に9館全てに設置を完了した。年度末迄の利用回数は、全館合わせて7,912回であった。
		分析	(1)計画通り実行。モニタリング結果から、利用したことがない人が8割を超え、また制度を知らないと答えた人は約4割であった。制度の周知が求められる。 (2)計画通り設置。利用者数の差に伴い、各館での利用回数にも差があるため引き続き周知を行う。
			4/4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）電子図書館サービスの拡充 **主な手段**：非来館型サービスを充実するため、電子図書館サービスを継続する。 **目標**：前年度比500点増 **（2）電子図書館サービスの周知** **主な手段**：利用を促進するため広く市民の目に触れる媒体で周知する。 **目標**：『広報あげお』等に年間3回掲載	実施状況	(1)電子書籍は、前年度より641点増加。 (2)『広報あげお』『みんなの図書館』で各1回、Twitterで4回周知を図るとともに、その他デジタルサイネージや自動販売機等の広告を活用し発信を行った。
		分析	(1)令和5年度は期限付き資料約520点の減少が見込まれるが、利用の要望に応えるため閲覧可能タイトル数を維持する。 (2)利用促進のため、『広報あげお』のほか、様々な媒体で周知を行った。今後、利用継続に結びつくような施策の展開が必要である。
			4/4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）電子図書館サービスの拡充【継続】 **主な手段**：非来館型サービスを充実するため、電子図書館サービスを継続する。なお、令和3年度に受入した資料など約520点の資料が利用期限を迎えるが、利用者の要望に応えるために、閲覧可能タイトル数の増加を維持する。 **目標**：前年度比50点増 **（2）魅力ある特集展示** **主な手段**：魅力ある特集展示コーナーを作り、貸出数向上を図る。 **目標**：展示資料の展示効果率（展示期間中の貸出率/貸出前の貸出率）の向上	実施状況	(1)令和5年度は、515冊の期限切れに対し、649冊購入し、前年度比134点増となった。 (2)特集展示の展示効果率の平均は約269%であった。
		分析	(1)計画通りに実行。引き続き、利用者の要望に応えるために、閲覧可能タイトル数の増加を図る。 (2)展示の効果を実証できた。今後は社会情勢や地域課題に結びつき、利用者の読書意欲を駆り立てるようなテーマ展示の実施に努めていく。
			4/4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)電子図書館サービスの拡充【継続】 **主な手段**:非来館型サービスを充実するため、広報あげお、SNS、講座等により電子図書館サービスの利用者拡大を図る。 **目標**:講座を年1回以上開催する。 **(2)魅力ある特集展示【継続】** **主な手段**:事業や講座内容、モニタリング結果を反映した常設展示コーナーを児童室に設置する。 **目標**:9月までに展示コーナーを1か所設置	実施状況	(1)令和6年度は、389冊の期限切れに対し、637冊購入し、前年度比248点増となった。図書館まつりで行われる講座の一つ（令和6年11月16日実施）のなかで電子図書館の使い方講座を実施した。 (2)9月、児童室にミニ展示コーナーを設置した。
		分析	(1)計画通りに実行。引き続き、利用者の要望に応えるために、閲覧可能タイトル数の増加を図るとともに、講座等を実施することにより利用者の拡大を図る。 (2)目標達成。今後は展示コーナーについて様々な媒体で周知を行い、利用者の読書意欲を駆り立てるような魅力ある特集展示の実施に努めていく。
			4/4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)電子図書館サービスの拡充【継続】 **主な手段**:非来館型サービスを充実するため、広報あげお、SNS、講座等により電子図書館サービスの利用者拡大を図る。 **目標**:講座を年1回以上開催する。 **(2)魅力ある特集展示【継続】** **主な手段**:魅力ある特集展示を実施する。 **目標**:(期間特集展示のほかに)年5回以上実施	実施状況	(1)令和7年度は、269冊の期限切れに対し、670冊購入し、前年度比401点増となった。図書館まつりで行われる講座の一つ（令和7年11月9日実施）のなかで電子図書館の使い方講座を実施した。 (2)児童室において、期間特集展示のほか、特集展示3回、ミニ展示を3回実施した。
		分析	(1)計画通りに実行。引き続き、利用者の要望に応えるために、閲覧可能タイトル数の増加を図るとともに、電子図書館の周知を行い利用者の拡大を図る。 (2)目標達成。今後は、特集内容がニーズと合っているのかを検証したうえで、利用者の読書意欲を駆り立てるような魅力ある特集展示の実施に努めていく。
			4/4

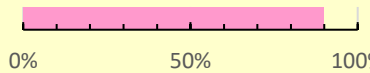
【計画期間評価】※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

電子図書館サービスについては、令和3年の導入から毎年電子書籍を購入してサービスの拡充を行うことができた。また、図書館まつりで電子図書館の使い方講座を実施して、サービスの周知を行うことができた。今後も引き続きサービスの周知を行い利用者の拡大を図っていく。特集展示については、本館児童室においてコーナーを増設するなど展示回数を増やしたほか、展示効果率を用い展示の効果を実証することができた。引き続き、利用者の読書意欲を駆り立てるような魅力ある展示の実施に努める。

基本方針Ⅰ	図書館の基本機能の充実
計画項目	1.4.　閲覧

計画項目別達成水準

90.0%
(18/20)



方向性	館内での図書館資料の利用に必要な閲覧席その他設備について、レイアウトの変更なども含め、工夫しながら確保・充実に努めます。また、図書館資料を活用した生涯学習やグループワークなどに利用できるスペース等を確保します。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 新聞コーナーの刷新 **主な手段**：本館新聞コーナーの適切な配置を検討し、ソファー修繕も対応する。 **目標**：年度内の実施	実施状況：採光の良い2階階段上のコーナーに配置し、座席数を増やした。また、新聞棚を新調し、閲覧用のソファ席の張替を行った。 分析：計画どおり実行。モニタリング結果から閲覧席の数や質(快適さ)の満足度は、満足・ほぼ満足が全体では、約4割であり、本館では、約1割であった。引き続き、満足度を上げる必要がある。	4 /4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 書架の照明改善 **主な手段**：本館2階書架部分の照明を、順次蛍光灯からLED照明に変え資料の閲覧環境を向上させていく。 **目標**：書架のLED化率前年度比10%向上 **(2) 分館書架の資料のリフレッシュ** **主な手段**：分館の棚の引き抜き・排架と表示等の改善 **目標**：各分館2回以上	実施状況：(1)書架の吹抜照明6基24本、集会室の照明8本をLEDに変更。(2)分館書架については各館2回ずつ作業を実施。課題点を把握し、瓦葺分館については大規模なレイアウトの変更を行った。 分析：(1)書架のLED化は照度の低い集会室を優先したため、10%の目標未達。今後、開架部分に対し32本以上の交換を目指す。(2)計画どおりに実行。次年度は、排架状況に課題のある上平公民館図書室について改善を行う。	3 /4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 書架の照明改善【継続】 **主な手段**：本館2階書架部分の照明を、順次蛍光灯からLED照明に変え資料の閲覧環境を向上させていく。 **目標**：書架のLED化率前年度比10%向上 **(2) 開架の備品汚破損改善** **主な手段**：開架部分の椅子等について、汚破損の著しいものを買い替えではなくカバー購入や補修などで状態改善する。 **目標**：3物品以上について実施	実施状況：(1)書架の吹抜照明6基24本をLEDに変更。目標である10%向上には至らなかった。 (2)2階開放端末、レファレンスデスク、カウンターにおいて計9台分のチェアカバーを購入、取付。 分析：(1)令和6年度の利用者アンケートで館内の快適さについて「満足・ほぼ満足」が約66%であった。リニューアルを控えているため今回で取り組みを終了する。(2)特に汚損の激しい開放端末の椅子については対応済。今後も最低限の予算で行える汚破損対応を続ける。	3 /4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)分館の閲覧環境の充実 **主な手段**:分館について閲覧席の増設または修繕等を実施する。 **目標**:蔵書点検までに実施。	実施状況：(1)平方分館に学習席兼閲覧席を2席分新調し平方分館に設置(令和7年3月)。 分析：(1)設置時期が年度末となってしまったが、平方分館は平方東小学校の空き教室を利用した分館であり、今後、当該小学校に通う児童の居場所の一つとして活用されることを期待しており、次回モニタリング調査にて効果を検証する。	4 /4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)閲覧環境の確保 **主な手段**:本館・分館の閲覧環境について、必要な照度確保等により快適な閲覧環境を確保する。 **目標**:年2回閲覧スペース等の照度を確認し、必要に応じて設置対応を行う。	実施状況：年2回の照度確認作業を行い、適切な照度が確保されていることを確認した。 分析：(1)モニタリング結果において、閲覧席の数や質(快適さ)の満足度は、満足・ほぼ満足が全体では、約5割であり、本館でも同様であった。引き続き、照度を含めた満足度の向上に努める。	4 /4

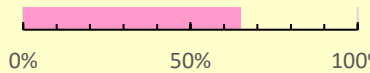
【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

計画期間中は、LED照明への変更や閲覧席数の増加等、閲覧機能を向上する取り組みを行うことができた。今後も引き続き利用者のニーズに応じた閲覧スペースの充実を図る。

基本方針Ⅰ	図書館の基本機能の充実
計画項目	1.5.　予約・リクエスト

計画項目別達成水準

65.0%（13/20）



方向性：Ｗｅｂ予約の推進を一層進めるなど、利用者にとって安心で利便性の高い予約・リクエストの手法を検討します。また、利用者の多様な資料要求に応えるため、他の図書館や類縁機関等とのさらなる連携強化を図ります。

令和3年度

事業計画の概要

（1）リクエスト方法の方向性の決定
主な手段：他市を調査し、利用者に利便性が高く、正確な処理の行える、当面の予約・リクエスト方法を決定する。

目標：方向性の決定

自己点検評価

実施状況：利用者からの要望の多い未所蔵本のWeb予約については購入検討や相互貸借、本の提案などを必要とし、これらの対応が現システムでは不可能なことが判明。
本のセット予約（上下巻やシリーズ物の資料などを優先順に用意する予約方法）について、検討したが結論には至らなかった。

分析：本のセット予約については現システムでの対応を含め、次年度検討をする。

1/4

令和4年度

事業計画の概要

（1）リクエスト制度の周知
主な手段：年度内に『広報あげお』『みんなの図書館』に周知記事を掲載する。
目標：年度内2回掲載

（2）予約・リクエストの利便性の向上
主な手段：本のセット予約等、システムで対応できる機能について検討する。
目標：10月までに、検討結果をまとめる。

自己点検評価

実施状況：(1)『広報あげお』『みんなの図書館』に各1回、周知記事を掲載した。
(2)検討の結果、セット予約の実施に向け、令和5年度事業計画の目標とした。

分析：(1)リクエスト制度のPRにより統計数値が増加していることから、予約・リクエストの未利用者にも認知が高まり利用を促進したと推測される。
(2)本のセット予約は導入に課題があるが、利用者の利便性の向上のため、継続目標として対応する。

4/4

令和5年度

事業計画の概要

（1）予約・リクエストの利便性の向上【継続】
主な手段：本のセット（上下巻やシリーズ物の資料などを優先順に用意する予約方法）について、システムで対応する。
目標：10月末まで実施

（2）リクエストカードのフォーマットの作成
主な手段:ホームページにリクエストカードのプリンター出力用フォーマットを作成し、出力できるようにする。
目標：6月までに実施

自己点検評価

実施状況：(1)担当やカウンター委託業者と調整したが、無関係の資料をセット予約してしまったり、巻号順に返却処理する必要がある等のシステム上での課題が判明。運用上の課題がクリアできないと判断し実施を見送った。
(2)計画どおり実施した。

分析：(1)セット予約については、システム更新など際に導入を再度検討する。
(2)目標を達成。今後はリクエストや予約の制度のPRに努め、利用を促進する。

2/4

令和6年度

事業計画の概要

(1)リクエスト制度の周知
主な手段:『広報あげお』『みんなの図書館』にリクエストや予約の制度についてPR記事を掲載する。
目標:年度内2回掲載

自己点検評価

実施状況：(1)『広報あげお』7月号及び『みんなの図書館』ふゆ号に周知記事を掲載した。

分析：(1)計画どおり実施したが、利用数は昨年度より若干減少傾向にあった。市民アンケートによると、予約・リクエストは知っているが利用したことがない人が多く、相互貸借は知らない人が多かったので、制度の説明が分かり易く伝わるよう周知内容を工夫していく必要かある。

3/4

令和7年度

事業計画の概要

(1)リクエスト制度の周知【継続】
主な手段:『広報あげお』『みんなの図書館』にリクエストや予約の制度についてPR記事を掲載する。
目標:年度内2回掲載

自己点検評価

実施状況：(1)『広報あげお』7月号及び『みんなの図書館』ふゆ号に周知記事を掲載した。

分析：(1)計画どおり実施したが、利用数は減少傾向にある。市民アンケートによると、予約・リクエストは知っているが利用したことがない人が多く、相互貸借は知らない人が多かったので、制度の説明が分かり易く伝わるよう周知内容を工夫していく必要がある。

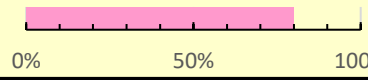
3/4

【計画期間評価】※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括
予約・リクエストの周知に努め、図書館ホームページにリクエストカードのプリンター出力用フォーマットを作成し、出力できるようにした。また、相互貸借や他県の図書館、大学等から借用するなどして利用者の要望にできるだけ応えることができている。予約・リクエストを利用したことがなかったりWeb予約の使い方がわからなかったりする人もいるので、Web予約の使い方の説明や予約・リクエスト制度の周知をして、今後もよりわかりやすく利用しやすい環境づくりに努める。

基本方針Ⅰ	図書館の基本機能の充実
計画項目	1.6.　複写

計画項目別達成水準

80.0%（16/20）



方向性	『著作権法』に則り、適切な複写サービスの運用が可能となるよう職員の知識・技能を高めるとともに、講座の開催や館内掲示など利用案内を強化するなど周知を図ります。また、複写機を含めた利用環境について、利用者の使い勝手や満足度の把握を行い、利便性の向上策について検討を進めます。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）著作権研修会への参加 **主な手段**：『著作権法』に関する研修会に職員を派遣し、職員間で情報を共有する。 **目標**：県主催の『著作権関係研修会』に参加	実施状況：令和3年11月25日･26日に開催された、文化庁主催「図書館等職員著作権実務講習会」に職員を派遣し、その結果を令和4年1月24日、図書館全体会議で共有した。 分析：計画どおり実行。図書館実務を行う上で、自らが著作権について熟知し、サービスに生かすこと、また利用者からの質問に正確に答えていくことは重要である。講習会に参加した職員の知識を館内で共有したことは意義があったと考える。	4/4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）著作権研修会への参加【継続】 **主な手段**：著作権法施行令で定める施設に勤務する，著作権法施行規則で定める「司書に相当する職員」を対象とした文化庁主催「図書館等職員著作権実務講習会」に職員を派遣し、職員間で情報を共有する。 **目標**：「図書館等職員著作権実務講習会」に１名以上参加 **（2）複写物送信サービスの検討** **主な手段**：郵送で複写物を提供するサービスや、メールで提供するサービスについて検討する。 **目標**：年度内に検討結果をまとめる。	実施状況：(1)10月20日に開催された文化庁主催「図書館等職員著作権実務講習会」に職員を派遣し、その結果を全体会議で共有した。 (2)複写サービスのうち、メールで提供する公衆送信については、国のガイドライン等の提示がなされず、情報収集のみとなった。 分析：(1)研修会への参加は、図書館等の実務に必要な知識を習得するとともに、常に新しい動向を掴むために有効であり、継続して参加すべき。 (2)複写物送信サービスについては国、県からの情報を調査研究し、サービス実施に向けて体制を構築する必要がある。	3/4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）著作権研修会への参加【継続】 **主な手段**：著作権法施行令で定める施設に勤務する，著作権法施行規則で定める「司書に相当する職員」を対象とした文化庁主催「図書館等職員著作権実務講習会」に職員を派遣し、職員間で情報を共有する。 **目標**：「図書館等職員著作権実務講習会」に１名以上参加 **（2）複写物送信サービスの検討【継続】** **主な手段**：図書館資料のメール送信について、国や県の見解や動向を基に検討する。 **目標**：上半期に検討結果をまとめる。	実施状況：(1)6月23日埼玉県公共図書館等職員研修会「いま改めて考える図書館サービスと著作権」に1名参加。後日3名オンラインで受講した。 (2)複写物送信サービスは、国の方針(概略)は示されたが、特定図書館の登録など開始する準備が整っていない。 分析：(1)著作権は頻繁に法改正されることから、継続して研修を受け、共有する必要がある。 (2)複写物送信サービスについては、今後も情報を収集し状況を見極める必要がある。	3/4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)著作権研修会への参加【継続】 **主な手段**:著作権法施行令で定める施設に勤務する，著作権法施行規則で定める「司書に相当する職員」を対象とした文化庁主催「図書館等職員著作権実務講習会」に職員を派遣し、職員間で情報を共有する。 目標:「図書館等職員著作権実務講習会」に1名以上参加 **(2)の検討【継続】** **主な手段**:図書館資料のメール送信について、国や県の見解や動向を基に検討する。 **目標**:上半期に検討結果をまとめる。	実施状況：(1)「図書館等職員著作権実務講習会」にオンラインで1名受講した。 (2)図書館資料のメール送信について、国や県の見解や動向を基に調査し検討結果をまとめた。 分析：(1)著作権は頻繁に法改正されることから、継続して研修を受け、共有する必要がある。 (2)県内では3館参加特定図書館の登録があった。特定図書館の登録要件等、サービス実施への課題が明らかとなった。今後も情報を収集し検討を継続する。	2/4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)著作権研修会への参加【継続】 **主な手段**:司書に相当する職員を対象とした文化庁主催「図書館等職員著作権実務講習会」に職員を派遣し、職員間で情報を共有する。 **目標**:「図書館等職員著作権実務講習会」に1名以上参加	実施状況：(1)「図書館等職員著作権実務講習会」にオンラインで1名受講し、内容について、図書館全体会議に共有した。 分析：(1)著作権は頻繁に法改正されることから、継続して研修を受け、職員間で情報を共有する必要がある。	4/4

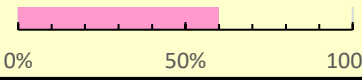
【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

文化庁主催「図書館等職員著作権実務講習会」については職員が研修を受講し、図書館全体会議にて共有をした。公衆送信サービスについては、2026年5月現在、参加特定図書館は、全国の図書館では29館（大学図書館を含む）県内の図書館では3館である。今後も情報を収集し、検討を継続する。

基本方針Ⅰ	図書館の基本機能の充実
計画項目	1.7.　行政関係

計画項目別達成水準

60.0%（12/20）



方向性	市の行政資料や情報は、市民生活に密接に影響するため、市の関係部署との連携体制を構築するなど体系的かつ積極的に収集、提供していきます。また、市の情報はインターネット環境で閲覧可能なものも多いため、情報検索の環境整備やデジタルデバイド解消のための対策も併せて推進します。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）行政関係パンフレットの収集 **主な手段**：県、市、近隣市町発行・発刊の冊子型の情報誌を収集する。 **目標**：年度内のデータベース化	実施状況：県、市、近隣市町発行・発刊の冊子型の情報誌を収集し、令和3年度184冊登録した。（令和3年度郷土資料全体の登録数は255冊）	1/4
		分析：行政関係資料の収集はしたが、データベース化はできなかった。モニタリング結果から、郷土資料を増やしてほしいという意見が多かった。新しく収集した行政関係資料を含めた郷土資料の利便性の向上に努める。	

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）行政関係資料の収集 **主な手段**：市発行の行政資料で、市民の生活に役立つ冊子体の資料を収集する。 **目標**：10月までに排架	実施状況：令和4年度は114冊収集し排架。（令和4年度末時点で郷土資料の登録数は176冊）	4/4
		分析：市発行の行政資料を収集した結果、郷土資料登録数のうち市民の生活に役立つ冊子体は6割以上を占めることができた。引き続き関係部署と連携し収集を行う。	

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）行政事業等広報資料の排架改善 **主な手段**：本館館内で配布している行政チラシ等を、利用者に分かりやすいようカテゴリごとに排架する。 **目標**：５月末までに実施	実施状況：（1）令和5年8月に「市内」、「市外」、「ビジネス」とカテゴリを分け、利用者に分かりやすいチラシ配架とした。	4/4
		分析：（1）目標は達成。「市内」「市外」「ビジネス」とカテゴリ分けしたことにより、利用者の情報アクセスの利便性が向上した。	

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)分館における行政資料の収集及び排架 **主な手段**:分館の行政資料・地域資料について、利用状況に合わせて排架する資料を見直し利用しやすい蔵書を構築する。 **目標**:10月までに実施	実施状況：（1）分館の利用状況に応じた行政資料の配架見直しを検討していたが、見直しを進めるにあたり本館の資料配置の再検討が必要となったため、分館の対応まで至らなかった。	1/4
		分析：（1）行政資料について、行政機関Webサイトのみの情報で発信されることが多くなっている。また、従来の冊子体の行政資料もあるため、資料の収集にあたり、上尾市図書館の行政資料をどのように収集するかルール作りの検討が必要である。	

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)分館における行政資料の収集及び排架【継続】 **主な手段**:分館の行政資料・地域資料について、利用状況に合わせて排架する資料を見直し利用しやすい蔵書を構築する。 **目標**:10月までに実施	実施状況：（1）本館・分館の行政資料・地域資料について、利用者の利用状況を考慮した排架を行った。	2/4
		分析：従来の冊子体の行政資料に加え、行政機関のウェブサイトを通じてのみ発信される情報が増加している現状を踏まえ、適切な収集方法を検討する必要がある。ただし、昨年度からの課題であるが収集に関する具体的なルールが定められていない。今後、行政資料の収集方法を長期的・継続的な情報提供体制を確保するためのルールづくりが課題である。	

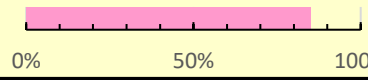
【計画期間評価】※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

行政事業等広報資料として本館1階ロビーで配布している行政チラシ等を、利用者に分かりやすいようカテゴリごとに排架した。今後は行政資料に関しては、情報格差の解消にも配慮しつつ、デジタル化した行政資料を収集し、上尾市電子図書館等で構築する。

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供
計画項目	2.1.　レファレンスサービス

計画項目別達成水準

85.0%（17/20）



方向性：利用案内や情報提供など、基本的なレファレンスサービスの提供を着実に行うとともに、サービス自体の周知を徹底することにより活用促進を図ります。また、多様化・複雑化する利用者の情報ニーズに応えるため、レファレンスサービスを今後の図書館の中心的サービスと位置づけ、職員等の技能向上を含めた対応体制を構築します。

令和3年度

事業計画の概要

(1) レファレンスデスクの設置
主な手段：外部のレファレンス研修に積極的に参加する。
レファレンスデスクを設置する。

目標：年度内に設置

自己点検評価

実施状況：国会図書館レファレンス協同データベース事業担当者研修会に1名参加し、担当内で共有した。
令和3年11月から火曜日午前、本館レファレンスデスクに職員を配置した。

分析：計画どおり実行。モニタリング結果からレファレンスデスク開設時の件数は44件であったが、レファレンス件数は令和2年度比82件増である。レファレンスデスクの設置の有効性は不明であるが、レファレンスについての需要は徐々に増えてきていると思われる。

4/4

令和4年度

事業計画の概要

(1) レファレンスデスクの周知・拡充
主な手段：レファレンスデスクの運営を継続し、『広報あげお』や上尾市図書館ホームページで周知を行うことで利用促進を図る。
目標：四半期に1回周知

(2) レファレンスブックの収集
主な手段：レファレンス担当者での選書会議を行い、必要な資料について購入する。
目標：前年度比3%増

自己点検評価

実施状況：(1)『広報あげお』に2回、『みんなの図書館』で1回、またホームページに青少年レファレンスタイムの開催と事業報告の記事を掲載し周知した。
(2)分類担当者、レファレンス担当者の選書会議を経てレファレンスブック110冊を購入し、前年比の3倍弱を達成した。

分析：(1)計画通り拡充。ニーズは高まっており、継続と周知が不可欠である。新たにレファレンスに特化した情報紙を発行し、周知を図る。
(2)多様なレファレンスに対応するため、地理・歴史・医学等、比較的古い資料が多い2分類、4分類に集中してレファレンスブックを購入する。

3/4

令和5年度

事業計画の概要

(1) レファレンスサービスの周知
主な手段：レファレンスサービスの周知のため、『レファレンス通信』を発行し利用促進を図る。
目標：年間2回発行

(2) レファレンスブックの収集
主な手段：レファレンスに有益な本を収集する。
目標：２分類、４分類のレファレンスブックの集中的な購入

自己点検評価

実施状況：(1)レファレンスに関する情報誌『レファレンスMemo』を2月に発行した。
(2)レファレンス担当が2分類、4分類を中心に9冊購入した。

分析：(1)情報紙発行は1回のみであったが、それを機に来館した利用者がおり、レファレンスサービスの周知に一定の効果があった。
(2)多様なレファレンスへの対応に役立っている。来年度は8分類に集中して購入する。

3/4

令和6年度

事業計画の概要

(1)レファレンスサービスの周知【継続】
主な手段:レファレンスサービスの周知のため、情報紙『レファレンスMemo』を発行し利用促進を図る。
目標:年間2回発行

(2)レファレンスブックの収集【継続】
主な手段:レファレンスに有益な本を収集する。
目標:8分類のレファレンスブックの集中的な購入

自己点検評価

実施状況：(1)レファレンスに関する情報紙『レファレンスMemo』を10月と3月、年間2回発行した。
(2)目標では8類の集中的な購入を予定していたが、他の分類で優先度の高い資料があったため、8類は1冊のみで計12冊購入した。

分析：(1)引き続き、情報紙を発行やイベントを行い、利用件数は昨年度に比べ、若干増やすことができた。
(2)市民アンケートではレファレンスサービスを知らないとする回答が53.1%にのぼり、優先度も3.1%と低かったことからサービスの周知と信頼性の高いレファレンス資料の収集に努めたい。

3/4

令和7年度

事業計画の概要

(1)レファレンスサービスの周知【継続】
主な手段:レファレンスサービスの周知のため、情報紙『レファレンスMemo』を発行し利用促進を図る。
目標:年間1回発行

(2)レファレンスブックの収集【継続】
主な手段:レファレンスに有益な本を収集する。
目標:各分類と協議しレファレンスブックの購入

自己点検評価

実施状況：(1)レファレンスに関する情報紙『レファレンスMemo』を3月発行した。
(2)2分類3冊、3分類1冊、6分類2冊、7分類1冊、9分類2冊のレファレンスブック計9冊購入した。

分析：(1)引き続き、情報紙を発行やイベントを行ったが、利用件数は昨年度に比べ、若干減少した。
(2)令和8年度利用者モニタリング調査の結果でレファレンスサービスの満足度で満足が約17%、普通が21%だったため、信頼性の高いレファレンス資料の収集と職員の技術向上に努めたい。

4/4

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

レファレンスサービス強化として火曜日午前、本館にてレファレンスデスクに職員を配置、夏休みに児童・青少年向けに『児童・青少年レファレンスタイム』を実施、情報紙『レファレンスMemo』発行などしたが、令和8年度利用者モニタリング調査の結果はレファレンスサービスの認知度は利用したことが無い、知らないが60.85%のため、今後も利用拡大のため、認知度をあげていきたい。

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供
計画項目	2.2.　レフェラルサービス

計画項目別達成水準

80.0%（16/20）

0%　50%　100%

方向性	利用者の地域性の高い、あるいは専門性のある情報ニーズに対応できるよう、専門的な機関・団体又は個人の紹介を行うレフェラルサービスを推進します。できるだけ多くのサービスが提供できる体制を構築するために、市の公的専門機関、専門家等との連携強化を図るとともに、ＳＮＳ等の活用についても検討を進めます。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)専門図書館の把握 **主な手段**:近隣の類縁機関の収集範囲や動向を把握する。 **目標**:データベース化	実施状況：近隣の類縁機関の収集範囲や動向を調べた。図書館ホームページの「調べものに役立つリンク集」の内容の見直し、検討を行った。 分析：計画どおり実行したが、今後も市町村のホームページを研究し、改良を加えていくことが必須と思われる。	2/4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)専門機関へと調査を繋げるフローチャートの作成 **主な手段**:目的ごとにどの専門機関を利用すればよいかがわかるフローチャートの作成及び利用者への配布、上尾市図書館ホームページへの掲載を行う。 **目標**:年度内の実施	実施状況：上尾市図書館ホームページ上の「調べものに役立つプラットフォーム」にレフェラルサービスに関するコンテンツを作成し、専門家・専門機関等についてのリンクを掲載した。 分析：広く周知が必要であることから、『レファレンス通信』の中でレフェラルサービスについて紹介し、周知を図る必要がある。	3/4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)レフェラルサービスの周知について **主な手段**:『レファレンス通信』に市民が相談できる専門的な機関・団体の紹介を行う。 **目標**:年間2回掲載	実施状況：(1)レファレンスに関する情報誌『レファレンスMemo』を2月に発行し、レフェラルサービスの記事を掲載した。 分析：(1)『レファレンスMemo』の発行が1回であったため、掲載も1回にとどまった。今後もレフェラルサービスについて掲載するなど、周知を継続して行う。	3/4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)レフェラルサービスの周知【継続】 **主な手段**:情報紙『レファレンスMemo』に市民が相談できる専門的な機関・団体の紹介を行う。 **目標**:年間1回掲載	実施状況：(1)レファレンスに関する情報紙『レファレンスMemo』を10月と3月に発行し、レフェラルサービスの記事を掲載した。 分析：(1)「さいたま文学館」「埼玉県県民活動総合センター」について掲載した。今後も市民が相談できる機関・団体の周知を継続して行う。	4/4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)レフェラルサービスの周知【継続】 **主な手段**:情報紙『レファレンスMemo』に市民が相談できる専門的な機関・団体の紹介を行う。 **目標**:年間1回掲載	実施状況：(1)レファレンスに関する情報紙『レファレンスMemo』を3月に発行し、レフェラルサービスの記事を掲載した。 分析：(1)男女共同参画推進に関わる社会的性別の視点に立った図書や雑誌、行政資料などの収集をしている「With You さいたま情報ライブラリー」について掲載した。今後も市民が相談できる機関・団体の周知を継続して行う。	4/4

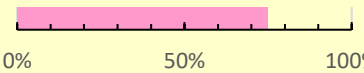
【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

情報紙『レファレンスMemo』や上尾市図書館ホームページ上の「調べものに役立つプラットフォーム」にレフェラルサービスに関するコンテンツを作成し、専門家・専門機関等についてのリンクを掲載したが、まだ十分とは言えないため、今後もレフェラルサービスの市民への認知度や職員の知識を深める必要がある。

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供
計画項目	2.3.　情報検索サービス等

計画項目別達成水準

75.0%
(15/20)



方向性	多様化する利用者の情報ニーズに対応できるよう、テーマ別の資料案内の実施や資料検索システム、有用なオンラインデータベースの導入、カレントアウェアネスサービス等利用者支援サービスの有効な活用方法について検討を進めます。また、公衆無線ＬＡＮの導入など多くの利用者が活用できるネットワーク環境整備について調査・研究を進めるほか、デジタルデバイドの解消策についても講じていきます。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) テーマ別の資料案内の実施 **主な手段**：調べものに役立つプラットフォームを上尾市図書館ホームページ上に作成する。 **目標**：年度内に作成	実施状況：上尾市図書館ホームページトップページに、「調べる・相談する（レファレンス）」のバナーアイコンを作成。リンクを種類ごとに、「調べもののためのリンク集」、「図書館で行っているサービス」、「上尾市についての調べもの、レファレンス」の項目に分けて、利便性の向上を図った。 分析：計画どおり実行。しかし、ホームページの満足度の具体的要望から、ホームページ全体の見やすさに改良を加えることが必須と思われる。	2/4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) テーマ別の資料案内の充実 **主な手段**：上尾市図書館ホームページ上の「調べものに役立つプラットフォーム」のコンテンツ、内容を適宜更新する。 **目標**：年度内に実施 **(2) オンラインデータベースの機能強化** **主な手段**：市民の調査研究の一助とするため、朝日新聞クロスサーチ（旧名「聞蔵Ⅱ」）に新たに全国の地域面や、明治・大正時代の新聞データ等を追加する。 **目標**：年度当初に実施	実施状況：(1)「調べる・相談する（レファレンス）」のページに新たに「専門家・専門機関等を調べる（レフェラルサービス）」を追加した。 (2)朝日新聞クロスサーチのオプションである「全国の地域面」、「明治・大正時代の新聞データベース」等を令和4年度当初から導入した。 分析：(1)新たなコンテンツを追加し、市民の利便性の向上を図ることができた。今後も、適宜更新し充実を図る。 (2)オンラインデータベースの機能強化により、今までカバーできていなかった地域、時代の情報をカバーすることで市民の利便性の向上に繋げた。今後は周知に力を入れていく。	4/4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 郷土資料のデジタル化 **主な手段**：「上尾市史」等の郷土資料をデジタル化し、上尾市電子図書館内に掲載する。 **目標**：６月末までに始動 **(2) 電子図書館サービス使い方講座の実施** **主な手段**：利用を促進するため使い方講座を実施する。 **目標**：10月末までに実施	実施状況：(1)5月から始動し、3月までに電子化予定資料34点を電子図書館に掲載し、利用者に提供した。 (2)図書館まつりで行われる講座の一つ（令和5年10月13日実施）のなかで電子図書館の使い方講座を実施した。 分析：(1)目標達成。3年間の政策企画提案制度事業であり、引き続き郷土資料のデジタル化を推進する必要がある。 (2)使い方が分からず電子図書館を活用できずにいた利用者にアプローチができた。	4/4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)電子図書館サービス使い方講座の実施【継続】 **主な手段**:利用を促進するため電子図書館の使い方講座等を開催する。 **目標**:11月末までに実施 **(2)国立国会図書館の個人向けデジタル化資料送信サービスの周知** **主な手段**:個人向けデジタル化資料の利用についてホームページで周知する。 **目標**:6月までに実施	実施状況：(1)図書館まつりで行われる講座の（令和6年11月16日実施）のなかで電子図書館の使い方講座を実施した。 (2)ホームページや『レファレンスMemo』で国立国会図書館の個人向けデジタル化資料の利用案内を掲載し周知した。 分析：(1)使い方が分からず電子図書館を活用できずにいた利用者にアプローチができた。引き続き講座等を実施することにより利用者拡大を図る。 (2)計画どおり実施したが、利用者アンケートでサービスについて「知らない」との回答が約60%と多かったので、今後もホームページや広報等で周知を行い、認知されるように努める。	3/4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)電子図書館サービス使い方講座の実施【継続】 **主な手段**:利用を促進するため電子図書館の使い方講座等を開催する。 **目標**:11月末までに実施	実施状況：(1)図書館まつりで行われる講座の（令和7年11月9日実施）のなかで電子図書館の使い方講座を実施した。 分析：(1)使い方が分からず電子図書館を活用できずにいた利用者にアプローチができたが、参加者が少なかった。今後は効果的な周知方法等を検討し利用者の拡大を図りたい。	2/4

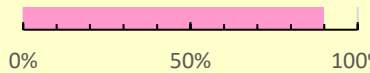
【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

令和5年度より図書館まつりにおいて、電子図書館サービスの使い方講座を実施して、電子図書館の使い方がわからない利用者にアプローチすることができた。しかし、令和7年度は参加者が少なかったため、今後はより効果的な周知方法を検討して利用者の拡大を図っていく。

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供
計画項目	2.4.　ビジネス支援

計画項目別達成水準

90.0%
(18/20)



方向性	特に市内のビジネス活動や研究活動の従事者、就業・起業を目指す人々の課題解決に向けた資料や情報の収集、提供を行うとともに、オンラインデータベースの紹介やリンク集の充実を図るなど、利用者が情報検索を行いやすい環境を整備します。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) オンラインデータベースの紹介やリンク集の充実 **主な手段**：他館の事例等も参考にしながら、ビジネスに有益なデータベース・リンクを収集する。 **目標**：ビジネスに役立つデータベース・リンク等を上尾市図書館ホームページに掲載する。	実施状況：図書館ホームページの「調べものに役立つリンク集」および「リンク集」のページに、「RESAS（地域経済分析システム）」「ハローワークインターネットサービス」のリンクを新たに掲載した。「調べものに役立つリンク集」の令和3年度アクセス数は578件。 分析：計画どおり実行。「調べものに役立つリンク集」は令和3年度578件利用された。今後も、ビジネスに役立つデータベース・リンク等の最新情報の把握に努める。また利用しやすいように改良を加えることが必須と思われる。	3/4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) ビジネス支援に関する資料の収集 **主な手段**：3・6分類や新書など、ビジネス支援に役立つ資料の収集を行う。（請求記号335,336,670-679。令和3年度22点購入） **目標**：駅前分館でビジネス関連本を前年度比3%多く購入 **(2) 電子図書館におけるビジネス支援本の購入** **主な手段**：ビジネス支援に役立つ資料を購入する。 **目標**：年間20タイトル以上	実施状況：(1)ビジネス支援に関する資料については、駅前分館で68点購入（前年の3倍強） (2)ビジネス支援関連の電子書籍を30タイトル購入 分析：(1)駅前分館のビジネス関連本の充実については目標を大きく上回った。今後は利用者の多い大石分館のビジネス支援本の充実を図る。 (2)電子図書館においては、今後も図書館への来館が難しい人に向けて、ビジネス支援本を同等数購入する。	4/4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) ビジネス支援に関する資料の収集【継続】 **主な手段**：3・6分類や新書など、ビジネス支援に役立つ資料の収集を行う。 **目標**：大石分館でビジネス関連本を前年度比3%多く購入 **(2) 電子図書館におけるビジネス支援本の購入【継続】** **主な手段**：ビジネス支援に役立つ資料を購入する。 **目標**：年間20タイトル以上	実施状況：(1)ビジネス支援に関する資料を大石分館で67点購入し、前年の2倍以上の増となった。 (2)ビジネス支援関連の電子書籍を26タイトル購入した。 分析：(1)目標を大きく上回った。今後は本館のビジネス支援関連本の充実を図る。 (2)目標を達成。今後も図書館への来館が難しい人に向けて、電子図書館におけるビジネス支援本を継続して購入する。	4/4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)ビジネス支援に関する資料の収集【継続】 **主な手段**:3・6分類など、ビジネス支援に役立つ資料の収集を行う。 **目標**:本館のビジネス関連本を前年度比3%多く購入 **(2)電子図書館におけるビジネス支援本の購入【継続】** **主な手段**:ビジネス支援に役立つ資料を購入する。 **目標**:年間20タイトル以上	実施状況：(1)ビジネス支援に関する資料を本館で125点購入し、前年度比2.5%多く購入した。 (2)ビジネス支援関連の電子書籍を44タイトル購入した。□ □ 分析：(1)資料については目標をわずかに下回ったが、その分電子書籍の購入を行った。今後も引き続きビジネス支援関連本の充実を図る。 (2)目標を達成。今後も図書館への来館が難しい人に向けて、電子図書館におけるビジネス支援本を継続して購入する。	3/4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)ビジネス支援に関する資料の収集【継続】 **主な手段**:3・6分類など、ビジネス支援に役立つ資料の収集を行う。 目標:分館のビジネス関連本を前年度比3%多く購入 **(2)電子図書館におけるビジネス支援本の購入【継続】** **主な手段**:ビジネス支援に役立つ資料を購入する。 目標:年間20タイトル以上	実施状況：(1)ビジネス支援に関する資料を分館で143点購入し、前年度購入83点の2倍弱の増となった。 (2)ビジネス支援関連の電子書籍を31タイトル購入した。 分析：(1)目標を大きく上回った。今後も引き続き各館の蔵書構成を見ながらビジネス支援関連本の充実を図る。 (2)目標を達成。今後も図書館への来館が難しい人に向けて、電子図書館におけるビジネス支援本を継続して購入する。	4/4

【計画期間評価】※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

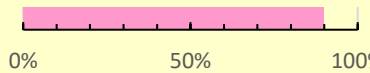
ビジネス関連の資料の収集は本館、分館ともに収集できている。来館が難しい人に向けて電子図書館にビジネス支援関連本を充実させてきた。今後もビジネス関連コーナーを設置するなど、より利用しやすい環境を作っていく。

図書館ホームページの「調べものに役立つリンク集」にビジネスに役立つデータベース・リンク等を掲載した。今後も最新情報の把握に努めながら、ビジネスに有益なデータベース・リンクを収集する。

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供
計画項目	2.5.　子育て・教育

計画項目別達成水準

90.0%（18/20）



方向性	子育て・教育に関して市民が抱える課題の解決に向けた資料・情報の収集、提供を行うとともに、書架やフロアのレイアウトの工夫や情報端末の利用案内（使用方法等に関する説明・支援）などを積極的に行い、利用者が相談しやすい環境整備を行います。

年度	事業計画の概要	自己点検評価	
令和3年度	**（1）子育て・教育に関する情報収集** **主な手段**：子育て・教育に関する資料、情報を収集する。 **目標**：子育て支援施設や公民館などのチラシ、保健センターの資料を集め、閲覧用ファイルを作成	実施状況：関係各課に子育てや教育に関する資料を調査した。子ども支援課「あげお子育てガイドブック」、保健センター「健康カレンダー」を収集し閲覧用ファイルを作成した。 分析：計画どおり実行。しかし、閲覧用に適している資料が少なかった。次年度は子育て・教育に関する関係部署との連携を図ることで、図書館の利用案内などを積極的に行い、利用促進に努める。	3/4
令和4年度	**（1）子育て・教育に関する関係部署との連携** **主な手段**：子育て支援センターと相互の職員派遣を行い、連携強化につとめる。 **目標**：年度内1回、同センターでおはなし会を開催。同センター職員を講師として図書館に招き、講座等を開催。 **（2）（仮）子ども・子育て複合施設との連携体制づくり** **主な手段**：（仮）子ども・子育て複合施設への絵本等を提供するとともに、相互に情報発信を行う。 **目標**：あっぴぃぶっくる本を利用した団体貸出制度の検討と実施準備	実施状況：(1)子育て支援センターに出向き、コラボレーションによるおはなし会を年間2回開催。 (2)子ども・子育て複合施設と調整を図った結果、併設の大谷西保育所に「えほんあっぴぃぶっくる」を配送することとした。 分析：(1)子育て支援センターとの連携は計画通り実行し、図書館のおはなし会のノウハウを同センターに伝承した。 (2)子ども子育て複合施設（AGECOCO）との調整の中で図書の選定・収集などをアドバイス。大谷西保育所への「えほんあっぴぃぶっくる」配送につなげることができた。	4/4
令和5年度	**（1）子育て・教育に関する関係部署との連携【継続】** **主な手段**：子育て支援センターと相互の職員派遣を行い、連携強化につとめる。 **目標**：年度２回、同センターでおはなし会を開催。同センター職員を講師として図書館に招き、講座等を開催。 **（2）誰もが本に親しめる機会の提供** **主な手段**：特別な配慮を必要とする子供のための資料を「読書バリアフリーコーナー」に排架する。 **目標**：LLブック、さわる絵本、点字図書、大活字本などを排架	実施状況：(1)子育て支援センターとのコラボレーションおはなし会を11月、3月の2回開催。子育て支援センターの職員による講座開催は調整がつかず実現できなかった。 (2)読書バリアフリーコーナー「上尾市図書館りんごの棚」にLLブック、さわる絵本、点字図書、大活字本を排架した。 分析：(1)おはなし会は目標どおりに実行。子育て支援センター職員を講師とした講座は実現せず、目標達成には至らなかった。 (2)目標達成。令和6年度に駅前分館でも同コーナーを設置し更なる周知及び利用の促進を図る。	3/4
令和6年度	**(1)子育て・教育に関する関係部署との連携【継続】** **主な手段**：子育て支援センターへ職員派遣を行い、連携強化につとめる。 **目標**：年度2回、同センターでおはなし会を共催。	実施状況：(1)子育て支援センターに出向き、コラボレーションによるおはなし会を１１月と3月の年2回開催。 分析：(1)目標どおり共催し、図書館のおはなし会のノウハウやおはなし会に合う絵本の情報提供を行った。	4/4
令和7年度	**(1)「上尾市図書館りんごの棚」（大石分館）における子育て・教育情報の収集強化** **主な手段**：読書バリアフリーコーナー「上尾市図書館りんごの棚」（大石分館）に発達に課題のある子の子育て・教育に関する資料を排架する。 **目標**：年間20タイトル以上	実施状況：(1)9月の蔵書点検後の開館に合わせ、大石分館にりんごの棚を設置した。発達に課題のある子供の子育て・教育に関する資料を排架。購入タイトルのうち、一般向けの支援本は105タイトル。 分析：(1)目標を超える冊数を購入。次年度以降は、大石分館以外においても情報提供ができるよう、さらなる資料の充実を図る。	4/4

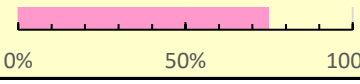
【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

令和4年度から子育て支援センターに出向き、コラボレーションによるおはなし会を開催した。結果、図書館のおはなし会のノウハウやおはなし会に合う絵本の情報提供も行うことで連携を図ることができた。また令和7年度は大石分館にりんごの棚を設置し、発達に課題のある子の子育て・教育に関する資料を購入し、目標を達成することができた。

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供
計画項目	2.6.　健康・医療、福祉

計画項目別達成水準

75.0%（15/20）



方向性	健康・医療情報に関しては、専門性が高く回答制限事項となるケースも多いため、参考資料や情報の収集を図るとともに、レファレンスサービスへの展開など情報の仲介機能を高めます。また、福祉関係は、市の関係部署や地域の公共的団体との連携強化により情報の仲介機能を高めます。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）市の関係部署との連携強化 **主な手段**：市の関係部署が発行する健康・医療、福祉に関するチラシ、リーフレット等を収集する。 **目標**：年度内に配架・閲覧の仕方の方向性を決定	実施状況：令和4年3月に市の関係部署(福祉総務課・健康増進課・高齢介護課・障害福祉課・生活支援課)が発行する冊子体の資料を収集し、今後の管理方法、収集の基準についてまとめた。 分析：計画通り実施。しかし、当初想定したよりも資料の数が少なく、サービスの向上には至らなかった。方策の検討を要す。	1/4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）市の関係部署との連携強化【継続】 **主な手段**：市の関係部署が発行する健康・医療、福祉に関するチラシ・リーフレット等を排架する。 **目標**：第1四半期までに実施 **（2）健康・医療、福祉に関する講座の開催** **主な手段**：健康・医療、福祉に関する講座を関係機関と連携して開催する。 **目標**：年度内に実施	実施状況：(1)上尾市健康カレンダー(健康増進課)、福祉のあらまし(健康福祉部・子ども未来部)などを排架した。 (2)図書館まつり『健康講座 in 図書館～伸ばそう！健康寿命～』を健康増進課保健師、職員を講師として開催した。 分析：(1)計画通りに実行。行政資料として排架したところ、一定の需要を確認した。 (2)関係機関と連携し、情報の仲介機能を高めるため継続して講座の開催を実施。併せて、関係する図書資料を展示し、利用促進も行う。	4/4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）「認知症」に関する資料の収集 **主な手段**：「認知症」に関する資料3分類、4分類の収集を行う。 **目標**：年間30タイトル以上 **（2）健康・医療、福祉に関する講座の開催【継続】** **主な手段**：健康・医療、福祉に関する講座を関係機関と連携して開催する。 **目標**：10月末までに実施	実施状況：(1)「認知症」に関する本を40冊購入した。 (2)図書館まつりでは小学5年生から大人を対象に誰でも簡単に作れる料理講座と健康に関する本の展示を行った。 分析：(1)実績が目標を上回った。認知症に関する本については関心が高いため、継続的に購入する。 (2)講座をきっかけに健康に関する本の周知を図った。令和6年度はブックリストと共に資料を展示し、さらに利用促進を図る。	4/4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)「認知症」に関する資料の収集【継続】 **主な手段**:「認知症」に関する資料3分類、4分類の収集を行う。 **目標**:年間30タイトル以上 **(2)「認知症」に関する資料の展示** **主な手段**:収集した資料を中心にブックリストと共に展示 **目標**:9月末までに展示	実施状況：(1)「認知症」に関する本を30タイトル購入した。 (2)3月に収集した資料を中心に「認知症」に関する資料の展示を行った。 分析：(1)「認知症」については、関心の高い疾病のため、引き続き収集をする。 (2)関心の高い疾患について最新の資料を収集する。	3/4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)「がん」に関する資料の収集【継続】 **主な手段**:「がん」に関する資料の収集を行う。 目標:年間30タイトル以上 **(2)「がん」に関する資料の展示** **主な手段**:収集した資料を中心に展示 **目標**:10月末までに展示	実施状況：(1)「がん」に関する本を26タイトルを購入した。 (2)3月に「がん」に関する特別展示を実施した。 分析：(1)「がん」については、関心の高い疾病のため、引き続き収集をする。 (2)実施時期は遅れたものの実施できた。	3/4

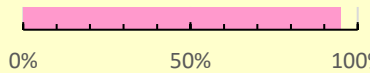
【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

健康・医療、福祉に関する市の刊行物や認知症・がんに関する書籍の収集も概ね計画どおり達成することができた。今後も利用者のニーズに応えるべく、最新情報の把握に努め、継続して資料の収集を行う。

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供
計画項目	2.7.　法律・司法手続き

計画項目別達成水準

95.0%（19/20）



方向性	法律・司法手続き情報に関しては、専門性が高く回答制限事項となるケースも多いため、参考資料や情報の収集を図るとともに、レフェラルサービスへの展開など情報の仲介機能を高めます。また、参考図書や資料について、資料収集方針などと調整を図りながら充実に努めます。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）法律・司法手続きに関する情報の収集 **主な手段**：データベースについて調査、研究をする。 **目標**：無料のデータベースのリンクを上尾市図書館ホームページに掲載	実施状況：図書館ホームページの「リンク集」および「調べものに役立つリンク集」のページに、「日本司法支援センター(法テラス)」「e-Gov法令検索」「裁判例検索」「日本法令索引」のリンクを新たに掲載した。 分析：計画どおり実行。今後も、法律・司法手続きに関する役立つデータベース・リンク等の最新情報の把握に努め、適宜更新していく。また利用しやすいように改良を加えることが必須と思われる。	3/4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）法律に関する資料の情報の整理 **主な手段**：本館・各分館に現行の法律知識に役立つ基本的な図書を排架する。 **目標**：年度内に実施 **（2）司法手続き等にかかわる関係各課との連携強化** **主な手段**：スムーズなレフェラルサービスを行うために、市関係各課との調整を行う。 **目標**：年度内に実施	実施状況：(1)蔵書の状況を確認し、本館56冊をはじめとして各分館でそれぞれ購入し排架した。 (2)図書館ホームページに関係各課の相談窓口等のリンクを掲載した。 分析：(1)法律に関する資料については、知識を深めるための基本的な資料を排架。今後は図書館に関する法律情報の資料の収集を行う。 (2)関係各課との連携により、ホームページにリンクを掲載した。	4/4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）法律に関する資料の情報の整理【継続】 **主な手段**：読書バリアフリー法、著作権法など図書館に関連する資料を収集し、利用者に周知する。 **目標**：上半期に特集展示 **（2）法律・司法手続きに関する講座の実施** **主な手段**：市民生活にかかわりの深い法律に関する講座を開催する。 **目標**：10月末までに実施	実施状況：（1）著作権法など図書館に関連する資料や生活にかかわる法律の資料を収集し、3月に展示を行った。 （2）10月20日に法テラスの弁護士を講師として「インターネット・SNS関連トラブルをめぐる法律講座」を開催した。 分析：(1)時期は遅れたが、法律に関する資料を収集し展示することで利用者に効果的に周知することができた。 (2)目標は達成。法テラスと連携して講座を行うことにより、利用者の知識を深めることができた。今後は分館等に対し法律関係の資料の充実を図る。	4/4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)法律に関する資料の情報の整理【継続】 **主な手段**:分館等に暮らしに役立つ法律知識を提供する図書をバランスよく収集・排架する。 **目標**:各分館等に3冊ずつ排架	実施状況：(1)暮らしに役立つ法律関連の図書を各分館等に3冊以上（全体で51冊）購入。 分析：(1)各分館に暮らしに役立つ法律関連の図書を排架できた。今後も引き続き本館も含めて収集し、資料の充実を図る。	4/4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)法律に関する資料の情報の整理【継続】 **主な手段**:法律知識を提供する図書をバランスよく収集・排架する。 **目標**:法律関連本を前年度比3%多く購入	実施状況：(1)法律関連の図書をに95冊購入し、前年度比33.8%多く購入した。 分析：(1)法律関連の図書を排架できた。今後も引き続き収集し、資料の充実を図る。	4/4

【計画期間評価】※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

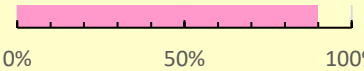
図書館ホームページの「調べものに役立つリンク集」に法律・司法手続きに関する役立つデータベース・リンク等データベース・リンク等を掲載した。今後も最新情報の把握に努めながら、有益なデータベース・リンクを収集する。

著作権法や暮らしに役立つ法律関連の資料を本館、分館に収集し、展示や法テラスと連携した講座も行うことができた。法律関連の図書は利用が多く、今後も引き続きバランスよく収集し、資料の充実を図っていく。

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供
計画項目	2.8.　高齢者サービス

計画項目別達成水準

90.0%
(18/20)



方向性：高齢者が使いやすいよう、ユニバーサルデザインに配慮した環境整備と図書館資料の提供を行います。また、近年では活動的な高齢者「アクティブシニア」が増加していることから、生涯学習意欲を支援するイベントの開催や資料提供、活動環境を提供します。

令和3年度

事業計画の概要

(1) セカンドライフコーナーの充実
主な手段：セカンドライフコーナーにアクティブシニア向けの図書資料を積極的に排架する。また情報提供のためのチラシ等を設置する。

目標：年度内に実施

自己点検評価

実施状況：アクティブシニア向けの図書資料セカンドライフコーナー734冊（令和4年3月31日現在）中、アクティブシニア向け図書を令和3年度中に、31冊配架した。

分析：計画どおりに実行。しかし、チラシ等の設置は管理の難しさから、検討したが排架は行わなかった。来年度は生涯学習を支援するイベントや講座を検討する。

3/4

令和4年度

事業計画の概要

(1) ｱｸﾃｨﾌﾞｼﾆｱの生涯学習意欲を支援する講座の開催
主な手段：本に関連し、かつシニアの生涯学習を支援するためのイベント・講座を定期的に開催する。
目標：年度内2事業開催

(2) シニア向けの生涯学習情報の提供
主な手段：放送大学、公民館講座、生涯学習サークル情報など高齢者の学習意欲の向上に有益な情報の提供を行う。
目標：チラシの提供や上尾市図書館ホームページへの掲載

自己点検評価

実施状況：(1)図書館まつりにおいて、主にシニアに向けた講座として健康講座と、県政出前講座を利用した講座を実施した。
(2)セカンドライフコーナーにおいて、市や関係団体が作成した情報冊子を収集し、福祉・健康・介護のカテゴリーに分けて排架した。

分析：(1)次年度もアクティブシニアの学習意欲を支援するため、より幅広い学習ニーズに応えられるような講座を開催する。
(2)次年度も継続して生涯学習情報を提供できるよう、関係部署と連携・調整を図る。

3/4

令和5年度

事業計画の概要

(1) ｱｸﾃｨﾌﾞｼﾆｱの生涯学習意欲を支援する資料の収集
主な手段：アクティブシニア向けの資料を積極的に収集する。
目標：年間30タイトル以上

(2) まちづくり講座の開催
主な手段：連続講座を開催する。
目標：年間1回開催

自己点検評価

実施状況：(1)41タイトルを購入。
(2)図書館本館の更新をテーマにした市民ワークショップを連続講座の方式で令和5年7月に2回および8月・9月に2回実施。

分析：(1)目標を超える資料を収集した。令和6年度は、主に健康維持等を中心とした資料を集めたコーナー配置を検討する。
(2)本館の更新は「まちづくり」の重要な要素であることから本ワークショップ開催をもって目標達成とした。

4/4

令和6年度

事業計画の概要

(1)高齢者のニーズに合わせた資料の収集
主な手段：高齢者のニーズに合わせた資料をバランスよく収集する。
目標：年間20タイトル以上

自己点検評価

実施状況：(1)43タイトルを購入。このほかシニア向け紙芝居11タイトルを購入・排架。

分析：(1)認知症や健康に関する資料を中心に目標を超える資料を収集した。次年度は収集した資料を活用した講座の開催を検討する。

4/4

令和7年度

事業計画の概要

(1)高齢者のニーズに合わせた資料の収集【継続】
主な手段：高齢者のニーズに合わせた資料をバランスよく収集する。
目標：年間20タイトル以上

自己点検評価

実施状況：(1)20タイトルを購入。また、前年度購入したシニア向け紙芝居を活用した講座を実施した。

分析：(1)目標数の資料を収集したほか、令和6年度に購入したシニア向け紙芝居を活用した講座を実施した。
参加者の感想や、その後のグループ活動からもアクティブシニアの学習意欲は高いと考え、次年度も、当該層へ向けた資料を活用したイベントの開催を検討する。

4/4

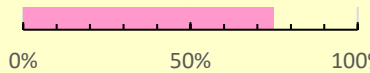
【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

セカンドライフコーナーにおける資料について、期間中、目標数または目標を超える数を収集したほか、令和７年度には、前年度に購入したシニア向け紙芝居を活用した講座を実施することができた。
健康維持やアクティブシニア層の学習意欲など、対象層の関心が高い分野を中心とした資料を収集することができた。

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供
計画項目	2.9.　障害者サービス

計画項目別達成水準

75.0%
(15/20)



方向性	図書館及び図書館資料の利用が困難な人に対して、これまで実施してきた点字資料の設置や大活字本の収集、録音資料等の整備・提供、対面朗読、宅配サービスの実施のほか、図書館の利用を促進するための介助や音声機能のある電子書籍を含む資料提供など多角的な支援を実施します。また、市の関係部署との連携強化を進め、個々のニーズに適したサービス手法についても検討していきます。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 音訳資料のリクエストの迅速な対応 **主な手段**：音訳資料で対応が難しい分野について、電子書籍での資料充実を進める。 **目標**：貸出実績の増	実施状況：利用者からのリクエストに対しては、サピエ図書館から借用する音訳資料で迅速に対応できている。貸出実績(403点)※前年度427点。令和4年6月から開始された障害者向け電子図書館サイトについては令和3年度検討はできなかった。 分析：障害者向け電子図書館サイトについては、公表されている情報は少ないため、令和4年度に引き続き、有用性等について検討する。	1/4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 宅配サービス利用者への情報提供 **主な手段**：宅配サービス利用者へ、新着図書案内や電子図書館など新サービスの案内を配布する。 **目標**：図書館で発行する「みんなの図書館」、各種サービス案内を発行後最も近い宅配時に配布 **(2) 電子書籍の活用の検討【継続】** **主な手段**：障害者の利用に特化した電子書籍サービスについて、有用性を検討する。 **目標**：年度内に検討	実施状況：(1)令和4年4月から、配布を開始した。 (2)8・9月に電子図書館内で使用するオーディオブックについて検討し、購入に向けて予算化した。 分析：(1)計画どおり実行。 (2)障害の有無にかかわらず、全ての人に読書の機会を提供する環境を整備すること、また、来館が困難な方や活字による読書が困難な方に、耳で聞く資料を提供することは継続して実施する必要がある。	4/4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 「本館読書バリアフリーコーナー」の設置及び周知 **主な手段**：特別な配慮（視覚障害、識字障害等）を必要とする子どもや大人を対象とした情報コーナーを本館に設置し、周知する。 **目標**：９月末までに実施 **(2) オーディオブックの購入** **主な手段**：上尾市電子図書館内にオーディオブックを導入する。 **目標**：30冊	実施状況：(1)6月に読書バリアフリー情報コーナー「上尾市図書館りんごの棚」を本館に設置し、新聞、広報、ホームページ等、様々な媒体で周知した。 (2)109点のオーディオブックを購入。 分析：(1)計画通りに実行。貸出目標件数430件に対し、544件という結果で目標値を超えることができた。今後も新たな資料を収集し、周知に努めていく。 (2)目標達成。今後もニーズを踏まえた資料の充実、周知に努めていく。	4/4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)「上尾市図書館りんごの棚」の設置及び周知【継続】 **主な手段**：読書バリアフリーコーナー「上尾市図書館りんごの棚」を駅前分館に設置し、周知する。 **目標**：6月末までに実施 **(2)オーディオブックの購入【継続】** **主な手段**：上尾市電子図書館に耳で聴く本オーディオブックを購入する。 **目標**：30タイトル	実施状況：(1)6月に読書バリアフリー情報コーナー「上尾市図書館りんごの棚」を駅前分館に設置し、広報、ホームページ等、様々な媒体で周知した。 (2)61点のオーディオブックを購入。 分析：(1)計画通りに実行。貸出目標件数470件に対し、1002件(ｵｰﾃﾞｨｵﾌﾞｯｸ含む)の貸出という結果で目標値は達成した。しかし市民アンケートでは84.9%が「知らない」と回答しているため、今後も新たな資料を収集し、周知に努めていく。 (2)目標達成。今後もニーズを踏まえた資料の充実、周知に努めていく。	2/4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)「上尾市図書館りんごの棚」の設置及び周知【継続】 **主な手段**：読書バリアフリーコーナー「上尾市図書館りんごの棚」を大石分館に設置し、周知する。 目標：6月末までに実施 **(2)オーディオブックの購入【継続】** **主な手段**：上尾市電子図書館に耳で聴く本オーディオブックを購入する。 **目標**：30タイトル	実施状況：(1)9月に読書バリアフリー情報コーナー「上尾市図書館りんごの棚」を大石分館に設置し、広報、ホームページ等、様々な媒体で周知した。 (2)104点のオーディオブックを購入。 分析：(1)計画通りに実行。貸出目標件数500件に対し、1170件の貸出という結果で目標値は達成した。しかし市民アンケートでは63%が「知らない」と回答しているため、今後も周知に努めていく。 (2)目標達成。今後もニーズを踏まえた資料の充実、周知に努めていく。	4/4

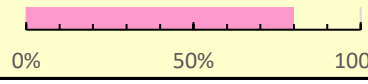
【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

障害者サービスについては、これまで実施してきたサービスに加えて、令和5年度より読書バリアフリーコーナー「上尾市図書館りんごの棚」を3年で3館に設置して、様々な媒体で周知を行うことができた。しかしながら、市民アンケートでは半数以上に認知されていない結果となっており、今後も周知に努めていく必要がある。

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供
計画項目	2.10.　多文化サービス

計画項目別達成水準

80.0%（16/20）



方向性	外国語利用案内の作成・頒布や外国語資料や情報の整備など、外国人市民の利用者が気軽に利用できる環境の整備を進めるため、市の関係部署やＮＰＯなどとの連携体制を構築し、ニーズの把握に努めます。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）多文化コーナーの設置 **主な手段**：多文化コーナー（仮称）に配架するための本を選定する。 **目標**：年度内に本館に多文化コーナー（仮称）を設置 **（2）外国語利用案内の整備** **主な手段**：現行の外国語利用案内について定期的に内容の確認を行い、必要に応じて修正する。 **目標**：継続的に実施	実施状況：（1）令和4年3月に、本館2階に「多文化コーナー」を設置し、外国人市民向けの本や多文化について学ぶ本を配架した。 （2）外国語利用案内については、電子書籍の項目を追加した他、軽微な修正を行った。 分析：（1）計画どおりに実行。多文化コーナーを設置した。令和3年度新規購入の13冊である。貸出回数が多い資料は、折り紙の本や日本人に向けての資料であった。 （2）計画どおり実行。次年度も必要に応じて修正を行う。	4/4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）外国籍市民等のニーズの把握 **主な手段**：関係部署等と連携し、市内在住外国籍市民のニーズの把握について検討する。 **目標**：第2四半期までに実施 **（2）「やさしい日本語」の活用** **主な手段**：「やさしい日本語」版の利用案内を作成・設置する。 **目標**：第2四半期までに実施 **（3）外国語利用案内の整備【継続】** **主な手段**：現行の外国語利用案内について定期的に内容の確認を行い、必要に応じて修正する。 **目標**：継続的な実施	実施状況：（1）市民課・市民協働推進課に照会し、在住者の国籍割合やハローコーナーの相談傾向から、資料収集の方向性を検討。 （2）令和4年10月までに「やさしい日本語」版の利用案内を作成し、設置した。 （3）令和3年度に大幅な修正・加筆を行ったため、実施せず。 分析：(1)ニーズの高い文書の確認や保険・健康に関する相談など、利用しやすく、必要な情報を包括する資料の充実を図る。 (2)(3)「やさしい日本語」版の利用案内及び外国語利用案内については今後も必要に応じて適宜修正する。	4/4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）多文化コーナーの充実 **主な手段**：市内在住外国籍市民の国籍割合にあわせた資料の収集を行う。 **目標**：年間10タイトル以上 **（2）外国語利用案内の整備【継続】** **主な手段**：現行の外国語利用案内について定期的に内容の確認を行い、必要に応じて修正する。 **目標**：継続的な実施	実施状況：(1)日本語や日本の文化を学ぶための資料について、14タイトルを購入。 (2)利用案内の「やさしい日本語」版及び4ヵ国語版について、電子図書館の初期パスワードの記載など修正すべき内容を確認した。 分析：(1)目標達成。今後は、利用者のニーズの高い情報を提供するため、コーナーの周知を図る必要がある。 (2)修正には至らず、未達成。「やさしい日本語」版の利用案内及び外国語利用案内について、今後、関連部署と連携を図り適宜修正を行っていく。	3/4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)多文化コーナーの周知 **主な手段**:やさしい日本語・英語を併記した周知をホームページ・SNS等で行う。 **目標**:年間2回以上	実施状況：(1)「ルビ」をふった「多文化コーナー」についての利用案内を「広報あげお令和7年2月号」に掲載したが、やさしい日本語・英語を併記したホームページ・SNSでの周知は行うことができなかった。 分析：(1)令和4年から多文化コーナーを設置した。資料の収集や外国語による利用案内などを進めてきた。今後はさらに利用案内や図書資料の収集・整備について、埼玉県立図書館の先進事例を参考にあらためて取り組みを検討していく必要がある。	2/4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)外国語利用案内の整備 **主な手段**:現行の外国語利用案内について関連部署と連携して修正を行い、館内に設置する。 **目標**:6月までに設置	実施状況：(1)関連部署と連携し、多言語版利用案内の修正を行い、7月に館内に設置した。また、外国人市民が利用しやすいよう貸出・返却カウンターに「指さしコミュニケーションシート」を設置した。 分析：(1)多言語版利用案内を修正し、本館の多文化コーナーに設置したほか、全館に向けては指さしコミュニケーションシートを設置した。日本語学校より利用案内希望もある中で、外国人市民の利用促進に向けて取り組みを検討していく必要がある。	3/4

【計画期間評価】※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

令和３年度に多文化コーナーを設置したほか、やさしい日本語版の利用案内の作成や多言語版の利用案内の更新、全館への指さしコミュニケーションシートの設置など、外国人市民への利用案内に向けた施策を進めることができた。
今後は、利用促進に向けて取り組みを検討していく必要がある。

基本方針Ⅲ	市民の学びと活動の支援
計画項目	3.1.　乳幼児・保護者サービス

計画項目別達成水準

95.0%（19/20）

0%　50%　100%

方向性	ブックスタート事業の推進やおはなし会等イベントの開催など乳幼児及びその保護者が本に触れ、親子の触れ合いや知識、感受性を育むきっかけづくりを支援します。また、書架やフロアのレイアウトの工夫など乳幼児及びその保護者が安心して図書館を利用できる環境づくりを行います。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）ブックスタート事業の推進 **主な手段**：４か月検診時に絵本と赤ちゃん向けのブックリストを渡す。あかちゃんおはなし会のチラシを配布し、ＰＲする。 **目標**：受診者全員に絵本を配布 **（2）おはなし会等イベントの開催** **主な手段**：おはなしボランティアと連携を取り、おはなし会、えほんのじかん、あかちゃんおはなし会を再開する。 **目標**：本館で段階的に再開	実施状況	(1)絵本配布数　1,463人 (2)おはなし会　6回開催。参加者数　35人 えほんのじかん　4回開催。参加者数　30人 あかちゃんおはなし会　1回開催。参加者数　7人	3/4
		分析	(1)4か月健診時に受診者全員に絵本を配布することができた。 (2)コロナ禍の中、工夫をしながらおはなし会等を行うことができた。今後も工夫をしながら行っていく。	

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）ブックスタート事業の推進【継続】 **主な手段**：4か月検診時に絵本と赤ちゃん向けのブックリストを渡す。あかちゃんおはなし会のチラシを配布し、ＰＲする。 **目標**：受診者全員に絵本を配布 **（2）おはなし会等イベントの開催【継続】** **主な手段**：おはなしボランティアと連携を取り、おはなし会、えほんのじかん、あかちゃんおはなし会を定期開催する。 **目標**：新しい生活様式に対応したおはなし会等を、本館のほか、分館でも再開	実施状況	(1)絵本配布数　1,473人 (2)おはなし会　80回開催/参加者数　456人 えほんのじかん　56回開催/参加者数　318人 あかちゃんおはなし会　11回開催/参加者数　156人	4/4
		分析	(1)4か月健診時に受診者全員に絵本、ブックリスト、及びあかちゃんおはなし会のチラシを配布することができた。 (2)新型コロナウイルス感染症対策のため、人数制限をしながら、工夫して実施した。	

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）ブックスタート事業の推進【継続】 **主な手段**：4か月検診時に絵本と赤ちゃん向けのブックリストを渡す。あかちゃんおはなし会のチラシを配布し、ＰＲする。 **目標**：受診者全員に絵本を配布 **（2）おはなし会等イベントの開催【継続】** **主な手段**：おはなしボランティアと連携を取り、おはなし会、えほんのじかん、あかちゃんおはなし会を定期開催する。 **目標**：新しい生活様式に対応したおはなし会等を、本館のほか、分館でも再開	実施状況	(1)4か月児検診時に絵本2冊を配布（1433セット）。また、コロナ禍により中止していた読み聞かせを8月から再開。 (2)ボランティアの協力のもと、本館・分館で定期開催している。 おはなし会：全120回887人、あかちゃんおはなし会：全12回266人、えほんのじかん：全83回522人	4/4
		分析	(1)計画どおり実行。今後も、関係部署と連携を取りながら実施していく。 (2)計画どおり実行。引き続き、ブックスタートとそのフォローアップとしておはなし会を開催し、子供の読書活動の推進を図る。	

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)ブックスタート事業の推進【継続】 **主な手段**:4か月検診時に絵本と赤ちゃん向けのブックリストを渡す。あかちゃんおはなし会のチラシを配布し、PRする。 **目標**:受診者全員に絵本を配布 **(2)おはなし会等イベントの開催【継続】** **主な手段**:おはなしボランティアと連携し、おはなし会、えほんのじかん、あかちゃんおはなし会を定期開催する。 **目標**:おはなし会等を、本館・分館で実施	実施状況	(1)4か月児検診時に絵本2冊を配布（1372セット）。また健診時に赤ちゃんと保護者に向けて読み聞かせを年23回実施。 (2)ボランティアの協力のもと、本館・分館で定期開催している。 おはなし会：全113回885人、あかちゃんおはなし会：全12回211人、えほんのじかん：全79回612人	4/4
		分析	(1)計画どおり実行。今後も、関係部署と連携を取りながら実施していく。 (2)計画どおり実行。ブックスタートとそのフォローアップとしておはなし会を開催し、親子のふれあいのきっかけづくりとして子供の読書活動の推進を図る	

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)ブックスタート事業の推進【継続】 **主な手段**:4か月検診時に絵本と赤ちゃん向けのブックリストを渡す。あかちゃんおはなし会のチラシを配布し、PRする。 **目標**:受診者全員に絵本を配布 **(2)おはなし会等イベントの開催【継続】** **主な手段**:おはなしボランティアと連携し、おはなし会、えほんのじかん、あかちゃんおはなし会を定期開催する。 **目標**:おはなし会等を、本館・分館で実施する。年100回	実施状況	(1)4か月児検診時に絵本2冊を配布（1322セット）。また健診時に赤ちゃんと保護者に向けて読み聞かせを年23回実施。 (2)ボランティアの協力のもと、本館・分館で定期開催している。 おはなし会：全120回842人、あかちゃんおはなし会：全11回295人、えほんのじかん：全84回578人	4/4
		分析	(1)計画どおり実行。今後も、関係部署と連携を取りながら実施していく。 (2)計画どおり実行。ブックスタートとそのフォローアップとしておはなし会を開催し、親子のふれあいのきっかけづくりとして子供の読書活動の推進を図る	

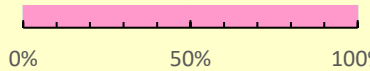
【計画期間評価】※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

コロナ禍の中、おはなし会等イベントについては令和３年度から工夫をしながら実施、ブックスタート時の読み聞かせについては令和５年度８月から再開することができた。
乳幼児及びその保護者が本に触れ、親子の触れ合いや知識、感受性を育むきっかけづくりを支援することができた。

基本方針Ⅲ	市民の学びと活動の支援
計画項目	3.2.　児童サービス

計画項目別達成水準

100.0%
(20/20)



方向性	子供の発達段階に合わせた図書・資料を整備するとともに、ＳＮＳやＩＣＴ技術等の活用も検討します。また、児童の読書習慣や本への興味を高める読み聞かせやおはなし会その他「読書パスポート」を活用した事業などを積極的に展開します。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 読書パスポートを活用した事業 **主な手段**：読書パスポートの説明動画を作成する。読書パスポートコンクールを開催する。 **目標**：説明動画の作成。市内小学校への配布。あげtubeで配信。市内全小学校の読書パスポートコンクールへの参加 **(2) おはなし会等児童向けイベントの開催** **主な手段**：おはなし会等の児童向けイベントの開催 **目標**：新しい生活様式に対応したおはなし会や夏休み事業、クリスマス会などを開催	実施状況	(1)説明動画を作成し、市内小学校へ配布。あげtubeで配信。読書パスポートコンクール表彰者数140人 (2) おはなし会参加者数　35人,えほんのじかん参加者数30人,あかちゃんおはなし会参加者数7人、体験図書館員参加者数　12人、クリスマス会参加者数20人
		分析	コロナ禍の中、直接小学校での読書パスポートの説明ができなかったが、説明動画を作成し、あげtubeで配信するなど工夫をして行うことができた。 児童向けイベントは工夫をして行うことができた。

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 読書パスポートを活用した事業【継続】 **主な手段**：小学校で読書パスポートの説明を行う。読書パスポートコンクールを開催する。 **目標**：市内全小学校が読書パスポートコンクールへ参加 **(2) おはなし会等児童向けイベントの定期開催【継続】** **主な手段**：おはなし会等の児童向けイベントを開催する。 **目標**：新しい生活様式に対応したイベント・事業　年10回	実施状況	(1)読書パスポート配布数　1,768人 読書パスポートコンクールには、市内全小学校が参加。 (2)おはなし会参加者数　456人、えほんのじかん参加者数318人、あかちゃんおはなし会参加者数　156人、体験図書館員参加者数　12人、クリスマス会参加者数　20人
		分析	(1)小学校に出向き、読書パスポートの説明と配布、絵本の読み聞かせを行った。本の興味を高め、読書習慣を身につけるため、引き続き読書パスポートを活用していく。 (2)新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ柔軟に開催を検討し、子供の読書活動を推進する。

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 読書パスポートを活用した事業【継続】 **主な手段**：小学校で読書パスポートの説明を行う。読書パスポートコンクールを開催する。 **目標**：市内全小学校が読書パスポートコンクールへ参加 **(2) おはなし会等児童向けイベントの定期開催【継続】** **主な手段**：おはなし会等の児童向けイベントを開催する。 **目標**：新しい生活様式に対応したイベント・事業　年10回	実施状況	(1)5～6月に小学校に出向き、全22校の1年生1,761人に読書パスポートを配布し、絵本の読み聞かせを実施。読書パスポートコンクールには、市内全小学校が参加。 (2)おはなし会（再掲・全120回）、小学生の体験図書館員を実施。
		分析	(1)目標達成。本の興味を高め、読書習慣を身につけるため、引き続き読書パスポートを活用していく。 (2)目標を超える実績。読書の楽しさを感じる機会であり継続が求められている。

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 読書パスポートを活用した事業【継続】 **主な手段**：小学校で読書パスポートの説明を行う。読書パスポートコンクールを開催する。 **目標**：市内全小学校が読書パスポートコンクールへ参加 **(2) おはなし会等児童向けイベントの定期開催【継続】** **主な手段**：おはなし会等の児童向けイベントを開催する。 **目標**：読み聞かせボランティアによるおはなし会　年80回	実施状況	(1)5～6月に小学校に出向き、全22校の1年生1,726人に読書パスポートを配布し、絵本の読み聞かせを実施。読書パスポートコンクールには、市内全小学校が参加。 (2)おはなし会（再掲・全113回）、小学生の体験図書館員を実施
		分析	(1)目標達成。本の興味を深め、読書習慣を身につけるため、引き続き読書パスポートを活用していく。 (2)小学3年生を対象にした読書についてのアンケートの回答ではイベントに参加したことがある児童は約41%だった。今後、回数はもちろん参加率50%以上を目指しイベントを実施していく。

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)読書パスポートを活用した事業【継続】 **主な手段**:小学校で読書パスポートの説明を行う。読書パスポートコンクールを開催する。 **目標**:市内全小学校が読書パスポートコンクールへ参加 **(2)おはなし会等児童向けイベントの定期開催【継続】** **主な手段**:おはなし会等の児童向けイベントを開催する。 **目標**:読み聞かせボランティアによるおはなし会　年80回	実施状況	(1)5～6月に小学校に出向き、全22校の1年生1,673人に読書パスポートを配布し、絵本の読み聞かせを実施。読書パスポートコンクールには、市内全小学校が参加。 (2)おはなし会（再掲・全120回）、小学生の体験図書館員を実施
		分析	(1)目標達成。本の興味を深め、読書習慣を身につけるため、引き続き読書パスポートを活用していく。 (2)目標を超える実績。読書の楽しさを感じる機会であり継続が求められている。

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

コロナ禍の中、おはなし会等イベントについては令和３年度から工夫をしながら実施、小学校での読書パスポートの説明については説明動画を作成し、あげtubeで配信するなど工夫をして行うことができた。
児童の読書習慣や本への興味を高める事業を積極的に展開することができた。

基本方針Ⅲ	市民の学びと活動の支援
計画項目	3.3.　青少年サービス

計画項目別達成水準

100.0%（20/20）



方向性

読書離れと言われる青少年世代が本に興味を持ち、知的活動をさらに飛躍させるためのＳＮＳや電子書籍などＩＣＴ技術の活用、ブックトーク、ビブリオバトルなどのイベント開催といった図書館利用促進に向けた仕組みづくりを進めます。また、ラーニングコモンズのようなグループワーク向けのスペースの設置など、将来の社会の担い手を支援する学び・交流の場の提供を検討します。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）青少年向け電子書籍の収集 **主な手段**：青少年をターゲットにした電子書籍を収集する。 **目標**：電子書籍全体の1割	実施状況：「ティーンズ」向けのコレクションとして電子書籍83点を購入した。電子書籍全体の購入数712点に対し、11.6%を達成した。 分析：計画通り実施。青少年に限定したモニタリング結果から、電子図書館を利用したことがない人がほとんどで、今後は周知の強化が求められる。ジャンルとしては小説・エッセイの要望が高かったため、選書の参考とする。	4/4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）青少年向け電子書籍の収集【継続】 **主な手段**：引き続き、青少年をターゲットにした電子書籍を収集する。 **目標**：電子書籍全体の1割 **（2）青少年向け図書リスト・啓発資料を配布【継続】** **主な手段**：市内中学校を通じて「ネクストジェネレーション」を全中学生に配布する。 **目標**：年3回 **（3）市内高校との連携** **主な手段**：高校との連携に向けたイベントの開催。 **目標**：年1回	実施状況：(1)青少年向け資料として68点(電子書籍全体の10.6%)購入した。 (2)年3回発行、市内中学校を通じて全中学生に配布した。 (3)図書館まつりで、「ティーンズ読書会　60分de名著」を開催し、上尾高校の生徒が参加した。 分析：(1)青少年向け電子書籍については計画どおり収集した。 (2)(3)図書リスト等の配布、市内の中・高校との連携に向けたイベントについても同様に実施。今後も「ネクストジェネレーション」を定期的に全中学生に配布するとともに、市内の中・高校との連携についても継続事業として通例化する。	4/4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）青少年向け図書リスト・啓発資料を配布【継続】 **主な手段**：市内中学校を通じて「ネクストジェネレーション」を全中学生に配布する。 **目標**：年3回 **（2）市内中・高校との連携** **主な手段**：中学校、高校との連携のために向けたイベントの開催 **目標**：年1回	実施状況：(1)青少年向け図書情報紙を7月、12月、3月に発行。 配布数：1回あたり5,630部、合計16,890部 (2)「図書館」をテーマにした絵画展「ティーンズ アート ギャラリー ＠ 駅前分館」を開催し、市内中学生の作品を展示。 期間：10/17～12/22　参加校：6校　作品点数：22点 分析：(1)目標どおり配布することができた。今後も定期的に全中学生に配布する。 (2)駅前分館でイベントを行うことにより、新設した駅前分館青少年コーナーのPRができた。今後も資料の充実を図り、利用を促進する。	4/4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)青少年向け図書リスト・啓発資料を配布【継続】 **主な手段**：市内中学校を通じて「ネクストジェネレーション」を全中学生に配布する。 **目標**：年3回 **(2)駅前分館「青少年コーナー」の充実** **主な手段**：青少年コーナーに主なターゲットである高校生向けの資料を購入 **目標**：年間30冊	実施状況：(1)）青少年向け図書情報紙を7月、12月、3月に発行。 配布数：1回あたり5,535部　合計16,605部 (2)駅前分館に高校生向けの資料を138冊購入 分析：(1)目標どおり中学校を通じて配布することができた。今後も定期的に全中学生に配布する。 (2)目標どおり実施した。昨年度より駅前分館の青少年向け図書の貸出数は増加しており、今後も資料の充実を図り、中高生が関心を持ってもらえるようPRに努める。	4/4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)青少年向け図書リスト・啓発資料を配布【継続】 **主な手段**：市内中学校を通じて「ネクストジェネレーション」を全中学生に配布し、SNSやホームページに掲載して周知する。 **目標**：年3回 **(2)駅前分館「青少年コーナー」の充実** **主な手段**：青少年コーナーに主なターゲットである高校生向けの資料を購入 **目標**：年間30冊	実施状況：(1)）青少年向け図書情報紙を7月、12月、3月に発行。 配布数：1回あたり5,410部　合計16,230部 (2)駅前分館に高校生向けの資料を133冊購入 分析：(1)目標どおり中学校を通じて配布することができた。今後も定期的に全中学生に配布する。 (2)目標どおり実施した。今後も資料の充実を図り、中高生が関心を持ってもらえるようPRに努める。	4/4

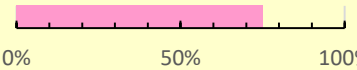
【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

令和５年度に駅前分館に青少年コーナーを設置し、駅前分館の青少年向け資料の貸出が増加した。本への関心を持ってもらえるように、読書会や高校生のおはなし会などのイベントを開催し、利用促進に努め、令和３年度から青少年向け情報誌を全中学生に配布した。
今後も図書館利用促進のためイベントやPRに努めるとともに、学習スペースなどの充実に努める。

基本方針Ⅲ	市民の学びと活動の支援
計 画 項 目	3.4.　子供の読書活動支援

計画項目別達成水準

75.0%（15/20）



方向性	子どもの読書活動支援センターの積極的な事業展開により、『上尾市子どもの読書活動推進計画』（あげお子ども読書プラン）に基づき、家庭・地域・学校と図書館が一体となって、子供の読書活動の推進を図ります。

年度	事業計画の概要	自己点検評価	
令和3年度	**（1）家庭・地域への支援** **主な手段**：保護者が絵本を選ぶきっかけにするために、絵本の紹介を行う。 **目標**：絵本を紹介するチラシの定期的な作成・配布、ツイッターでの公開 **（2）学校への支援** **主な手段**：「学校の授業をきっかけに、読書が広がる本のセット」を定期的に学校に配送する。 **目標**：モニター校の設置、セットの配送	実施状況：(1)本館1階ロビーに絵本のチラシを作成、配布した。本館の情報を発信する準備をした。 (2)モニター校を4校選定し、教科書の単元をキーワードに集めた本のセットを各校2回配送。利用校にアンケートを行い、予算化につなげた。 分析：計画どおり実行。学校からのアンケートによれば、「本が古かった」「連想マップが分かりにくかった」「貸出期間が短かった」との意見があったため、次年度の運用で改善していく。	3/4
令和4年度	**（1）家庭への支援** **主な手段**：保護者が子育てに絵本を取り入れるための講座開催や新しい絵本のﾘｽﾄの配布 **目標**：保護者向け講座 1回、絵本ﾘｽﾄ年12回配布 **（2）地域への支援** **主な手段**：読み聞かせﾎﾞﾗﾝﾃｨｱの資質向上支援、情報提供 **目標**：ステップアップ講座の開催1回　絵本ﾘｽﾄ年2回配布 **（3）学校への支援** **主な手段**：「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のｾｯﾄ」事業の実施 **目標**：本のｾｯﾄの選書・購入、学校への配送	実施状況：(1)絵本の良さを紹介するため「えほんセラピー」開催及び絵本リスト4回配布。 (2)富士見小学校保護者読み聞かせボランティアへの指導及び絵本リスト2回配布 (3)3種類各5セット購入し15校が活用。あわせて同セットを図書館・分館・公民館図書室に展示し、一般公開した。 分析：(1)(2)(3)家庭への支援策は未達であったが、地域・学校に対する支援を概ね計画どおり実行。アンケート結果は概ね好評であった。また、来年度に向けて新規の3種類のセット作成について予算を確保した。	3/4
令和5年度	**（1）家庭への支援** **主な手段**：保護者が子育てに絵本を取り入れるための講座開催や新しい絵本のﾘｽﾄの配布 **目標**：保護者向け講座 1回、絵本ﾘｽﾄの配布 **（2）地域への支援** **主な手段**：読み聞かせﾎﾞﾗﾝﾃｨｱの資質向上支援、情報提供 **目標**：ステップアップ講座の開催1回　絵本ﾘｽﾄ年2回配布 **（3）学校への支援** **主な手段**：「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のｾｯﾄ」事業の拡充 **目標**：18ｾｯﾄから36ｾｯﾄに拡充	実施状況：(1)おやこでえほんサロンを毎月第2木曜日に開催 (2)乳幼児向けおはなし会ボランティア養成講座開催を3月に実施。「おやこでえほんサロン」紹介本リストは未達。 (3)10月末までに36ｾｯﾄに拡充済 分析：(1)計画通り実行 (2)ステップアップ講座は行ったが、絵本リストの配布は未達。 (3)計画通り実行。新規3種類のセット作成について予算を確保した。令和6年度は教科書が改訂となるため、既存セットの組み換えも検討し、より魅力的なセット作りを検討する。	3/4
令和6年度	**(1)家庭への支援** **主な手段**:保護者が子育てに絵本を取り入れるための講座開催や新しい絵本のﾘｽﾄの配布 **目標**:保護者向け講座 1回、絵本ﾘｽﾄの配布 **(2)地域への支援** **主な手段**:読み聞かせﾎﾞﾗﾝﾃｨｱの資質向上支援、情報提供 **目標**:ステップアップ講座の開催1回　絵本ﾘｽﾄ年2回配布 **(3)学校への支援** **主な手段**:「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のｾｯﾄ」事業の拡充 **目標**:36ｾｯﾄから54ｾｯﾄに拡充	実施状況：(1)おやこでえほんサロンを毎月第2木曜日に開催及び絵本リスト4回配布。また、祖父母による孫への絵本の読み聞かせ等の一助になる講座を開催した。 (2)読み聞かせボランティアスキルアップ講座を3回実施。絵本リスト1回配布。 (3)48ｾｯﾄに拡充した 分析：(1)計画どおり実施。講座と絵本リストの配布により家庭での読み聞かせが促進され、保護者の反応も良好だった。 (2)計画どおり実施。読み聞かせボランティア支援の知識と意欲が向上した。 (3)3単元・18セットの拡充で目標54ｾｯﾄとしたが、令和6年度の教科書改訂により既存1単元分が対象外となったため、拡充数は予定どおりだが、セット数としては48となっている。	3/4
令和7年度	**(1)家庭への支援** **主な手段**:保護者が子育てに絵本を取り入れるための講座開催や新しい絵本のﾘｽﾄの配布 **目標**:保護者向け講座 1回、絵本ﾘｽﾄの配布 **(2)地域への支援** **主な手段**:読み聞かせﾎﾞﾗﾝﾃｨｱの資質向上支援、情報提供 **目標**:ステップアップ講座の開催1回　絵本ﾘｽﾄ配布 **(3)学校への支援** **主な手段**:多様な子供に向けた読書環境整備の支援 **目標**:「りんごのバスケット」資料の学校への貸出強化	実施状況：(1)おやこでえほんサロンを毎月第2木曜日に開催及び絵本リスト5回配布。 (2)資質向上のための講座として「紙芝居を知ろう～その魅力と演じ方～」を開催した。 (3)1校に貸出をした。 分析：(1)計画どおり実施。リストの配布は保護者から好評だった。 (2)計画どおり実施。紙芝居の演じ方についての講義を受けた。 (3)「りんごのバスケット」は団体貸出という形でのサービスとなるためか貸出は1校にとどまった。一方で、巡回配送の「りんごのかご」について計画どおり配送し、提供できている。今後は「かご」において充実と、「バスケット」においては周知の強化を図る必要がある。	3/4

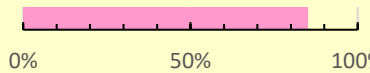
【計画期間評価】※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

『上尾市子どもの読書活動推進計画』に基づき、家庭・地域・学校に対する支援を実施した。家庭への支援としては、「おやこでえほんサロン」を毎月1回開催するとともに、絵本リストを配布し、保護者から好評を得ることができた。学校への支援としては、「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のセット」を作成し、5年間で市内全小学校への貸出を実施することができた。地域への支援についても、ボランティア向け研修等を通じて資質向上に努めた。今後も引き続き、子供の読書活動の推進を図っていく。

基本方針Ⅲ	市民の学びと活動の支援
計画項目	3.5.　若者の自立支援

計画項目別達成水準

85.0%
(17/20)



方向性	若者世代の就学・就業やボランティアなど、その他地域交流活動の情報・資料を収集、提供するとともに、図書館で気軽に学習できる機会・環境を整備します。また、この世代の情報収集手段がインターネット等によることが多いことから、有用なオンラインデータベースの紹介やリンク集の充実を進めます。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 若者世代に対する情報提供 **主な手段**：関係各課と調整し、情報を提供する。 **目標**：関係チラシ等を集め、情報提供をする。	実施状況：読書振興協議会が発行する「若い人に贈る読書のすすめ」を本館YYコーナーに設置した。今後も、若者世代向けの情報があれば随時配置する。 分析：青少年課等関係各課の情報を調査したが、適当と思われるチラシがなく、計画通り実施できなかった。次年度はチラシの提供を目標とせず、若者の自立支援に関する図書資料を強化することで若者の自立を支援する。	1/4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 進路や社会生活に関する資料の収集 **主な手段**：青少年向けの、進路や社会生活に関する資料を収集する。 **目標**：年間で15点の資料の収集	実施状況：20冊購入（3分類『大人になるってどういうこと?』、5分類『自炊のトリセツ』など） 分析：令和4年7月発行「ネクストジェネレーション」で自立の一助となる本を特集し、YYコーナーにて特集展示（122冊）を行った。次年度は、障害のある青少年向けの進路や社会生活に関する資料を収集し自立支援に役立てる。	4/4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 読書バリアフリーコーナーに障害のある若者の自立に関する本の収集 **主な手段**：障害のある青少年向けの、進路や社会生活に関する資料を収集する。 **目標**：LLブックの収集 **(2) 駅前分館に青少年向け資料の収集と配架** **主な手段**：若者に立地の良い、駅前分館に青少年コーナーを整備する。 **目標**：10月までにコーナーを設置	実施状況：(1)進路や社会生活に関するLLブックを13冊収集し、読書バリアフリーコーナー「上尾市図書館りんごの棚」に排架した。 (2)9月に駅前分館に青少年コーナーを開設し、主に高校生を対象とした資料を収集した。 分析：(1)計画どおり実行。今後も資料の充実、周知に努めていく。 (2)駅前分館に青少年コーナーを開設し、若者が気軽に利用できる環境を作った。今後は進路や自立に関する資料を収集する。	4/4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)若者の進路や自立に関する資料の収集 **主な手段**:受験案内、フリースクール、高校卒業認定ガイトなど進路や自立に関する資料を収集する。 **目標**:年間で15点を収集	実施状況：(1)若者の進路や自立に関する資料を29冊購入した。 分析：(1)計画通り実行。今後も若者の進路や自立の一助となるような資料の充実を図る。	4/4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)若者の進路や自立に関する資料の収集【継続】 **主な手段**:受験案内、フリースクール、高校卒業認定ガイトなど進路や自立に関する資料を収集する。 **目標**:年間で15点を収集 **(2)オンラインデータベースの紹介やリンク集の充実** **主な手段**:他館の事例等も参考にしながら、有用なデータベース・リンクを収集する。 **目標**:データベース・リンク等を上尾市図書館ホームページに掲載する。	実施状況：(1)若者の進路や自立に関する資料を31冊購入した。 (2)上尾市図書館ホームページの青少年のページに「進路や就職に役立つリンク集」を作成し、5か所のリンクを掲載した。 分析：(1)計画通り実行。今後も若者の進路や自立の一助となるような資料の充実を図る。 (2)計画通り実行。今後も最新情報の把握に努めながら適宜修正・追加をしていく。	4/4

【計画期間評価】※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

令和５年度に駅前分館に青少年コーナーを設置し、進路や自立に関する資料を収集した。図書館ホームページの青少年のページに進路や就職に役立つリンク集を掲載した。今後も引き続き資料の収集や展示を行うとともに学習スペースの充実など図書館で気軽に学習できる機会・環境の整備に努める。

基本方針Ⅲ	市民の学びと活動の支援
計画項目	3.6.　学習活動の支援

計画項目別達成水準

95.0%（19/20）

0%　50%　100%

方向性	図書館の利用を促進し、図書館資料、地域情報その他市民の知的活動の支援を目的とした講座や相談会、展示会等のイベントを開催します。また、公民館など市の関係部署とも連携しながら生涯学習に関する情報提供に努めます。

年度	事業計画の概要	自己点検評価	
令和3年度	（1）知的活動の支援 主な手段：知的好奇心を喚起する講座や展示の企画実施。また公民館等社会教育関連施設と連携したイベント開催や情報の提供を行う。 目標：継続的に実施	実施状況：秋の読書週間（10/27～11/9）に合わせて本や図書館に親しむ講座や展示、イベントなどを、図書館まつりとして実施した。 実施事業：8事業、参加者：一般 104人、幼児・児童 89人 あげTube「バースデーケーキをつくろう」 閲覧数：361回（令和4年3月18日現在） 分析：埼玉県立近代美術館と連携した「近代美術館スライドトーク　モネとピカソのひみつ」のアンケート結果からは「コロナ禍で美術館にもなかなか行けない。図書館で美術品に触れられ良かった」との意見があった。社会教育施設との連携は有意義であったと考える。	4/4
令和4年度	（1）知的活動の支援【継続】 主な手段：知的好奇心を喚起する講座や展示の企画実施。また県内博物館や美術館、市内公民館等、社会教育関連施設と連携したイベント開催や情報の提供を行う。 目標：社会教育施設2施設以上と連携したイベント実施	実施状況：図書館まつりで以下の連携講座を2事業実施した。 〇さきたま史跡の博物館コラボ「埼玉は持ってる！　国宝と古墳」 講師　同博物館学芸員　　参加者14人 〇埼玉県立近代美術館コラボ企画「近代美術出張館スライドトーク ピカソのひみつ」 講師　同美術館職員 参加者15人 分析：計画通り実行。社会教育施設等と連携（MLA連携）することで図書館単体では提供できなかった質の高い学びを提供できると考える。	4/4
令和5年度	（1）知的活動の支援【継続】 主な手段：知的好奇心を喚起する講座や展示の企画実施。また県内博物館や美術館、市内公民館等、社会教育関連施設と連携したイベント開催や情報の提供を行う。 目標：社会教育施設2施設以上と連携したイベント実施 （2）公民館講座に関する図書館からのおすすめ本リスト作成 主な手段：公民館講座に関する図書館からのおすすめ本リストを作成、提供をする。 目標：毎月作成、提供を行う。（講座開催なしの月は除く）	実施状況：(1)埼玉県立近代美術館、鉄道博物館、法テラス等8つの事業主体と連携し「図書館まつり」を実施した。 (2)講座開催なしの月を除き、毎月、おすすめ本リストを作成提供した。 分析：(1)アンケート結果は概ね良好であったが、開催期間が長期にわたってしまうため、凝縮されたよりよい事業を展開することを検討する。 (2)計画どおりに実行。図書館に足を運ぶためのきっかけづくり及び知的活動支援の一助を担うことができた。	4/4
令和6年度	(1)知的活動の支援【継続】 主な手段：知的好奇心を喚起する講座や展示の企画実施。また県内博物館や美術館、市内公民館等、社会教育関連施設と連携したイベント開催や情報の提供を行う。 目標：2施設と連携し実施 (2)公民館講座に関するおすすめ本リスト作成【継続】 主な手段：公民館講座のテーマに関し、図書館からおすすめ本リストを作成、提供をする。 目標：毎月作成、提供を行う。（講座開催なしの月は除く）	実施状況：(1)図書館まつりでは、福祉事業所による販売を取り入れた図書館カフェや、上尾高校の生徒によるおはなし会を、2つの施設と連携して実施した。 (2)講座開催なしの月を除き、毎月、おすすめ本リストを作成提供した。 分析：(1)子どもから高齢者まで幅広い世代に好評で、参加者の世代間交流の促進につながった。 (2)計画どおりに実行。図書館に足を運ぶためのきっかけづくり及び知的活動支援の一助を担うことができた。今後も可能な範囲で作成・提供を行っていく。	3/4
令和7年度	(1)知的活動の支援【継続】 主な手段：知的好奇心を喚起する講座や展示の企画実施。また県内博物館や美術館、市内公民館等、社会教育関連施設と連携したイベント開催や情報の提供を行う。 目標：2施設と連携し実施	実施状況：(1)図書館まつりでは、大石公民館のりんごの棚オープン企画として、「アイマスクでアイメイト（盲導犬）と歩こう！」等の事業主体との連携企画を実施した。 分析：(1)子どもから高齢者まで幅広い世代が参加できる企画を多く実施し、参加者の世代間交流の促進につながった。	4/4

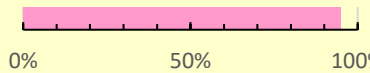
【計画期間評価】※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

毎年、図書館としての課題や新しい事業に関連するイベントや講座を行い、利用者の知的好奇心を喚起するとともに、市民への図書館へのPRの機会を設けた。また、毎年多岐にわたる社会教育関連施設等の連携したイベントを行い、目標を達成することができたと思われる。

基本方針Ⅲ	市民の学びと活動の支援
計画項目	3.7.　情報活用能力向上支援

計画項目別達成水準

95.0%（19/20）



方向性	情報社会における課題解決や情報リテラシー獲得・向上の支援として、ＩＣＴ等の活用や理解に役立つ情報の提供、利用案内、講座を開催します。特にデジタルデバイドの解消については、職員の知識・技能の向上と併せて積極的に取り組みます。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) ICT等の活用や理解に役立つ講座の実施 **主な手段**：企業等と連携し、ICT等の活用や理解に役立つ講座を開催する。 **目標**：年度内に開催	実施状況：日経テレコン21とナクソス・ミュージック・ライブラリーについて、11月にそれぞれ運営会社を招いて操作方法等の講座を開催した。日経テレコン21　2回開催　参加人数　14人 ナクソス・ミュージック・ライブラリー　2回　参加人数　17人 分析：計画どおり実行。しかし講座参加人数が少なかった。講座参加時のアンケートでは、参加者のうち、8割強が「良い」と答えたので、引き続き実施するとともに周知に努める。	4/4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) ICT等の活用や理解に役立つ講座の実施【継続】 **主な手段**：企業等と連携し、ICT等との活用や理解に役立つ講座を引き続き開催する。 **目標**：オンラインデータベース（朝日新聞クロスサーチ（旧「聞蔵Ⅱ」）、日経テレコン２１、ナクソス・ミュージック・ライブラリー）活用講座の実施	実施状況：オンラインデータベースについて、11月に各運営会社を招いて操作方法等の講座を各2回開催した。 ・朝日新聞クロスサーチ：参加7人 ・日経テレコン21：参加11人 ・ナクソス・ミュージック・ライブラリー：参加4人 分析：計画どおり実行。講座参加人数は昨年度より少なかったが、アンケートでは高評価を得た。新たな参加者を開拓するため、引き続き周知・実施方法等の改善を図る。	4/4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) ICT等の活用や理解に役立つ講座の実施【継続】 **主な手段**：企業等と連携し、ICT等との活用や理解に役立つ講座を引き続き開催する。 **目標**：オンラインデータベース（朝日新聞クロスサーチ（旧「聞蔵Ⅱ」）、日経テレコン２１、ナクソス・ミュージック・ライブラリー）活用講座の実施 **(2) 電子図書館サービス使い方講座の実施** **主な手段**：利用を促進するため使い方講座を実施する。 **目標**：10月末までに実施	実施状況：(1)12月に各運営会社を招いて操作方法等の講座を実施。朝日新聞クロスサーチなど4つの講座でのべ21人参加した。 (2)図書館まつりの講座の一つで電子図書館の使い方をレクチャーする講座を実施した。 分析：(1)計画どおりに実行。アンケートでは高評価だが、参加人数が少ないことが課題。引き続き周知、実施方法等の改善を図る。 (2)計画どおりに実行。使い方が分からず、電子図書館を利用していなかった人にアプローチすることができた。	4/4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)ICT等の活用や理解に役立つ講座の実施【継続】 **主な手段**:企業等と連携し、ICT等との活用や理解に役立つオンラインデータベース活用講座を実施。 **目標**:10月までに実施。	実施状況：(1)11月、12月に各運営会社を招いて操作方法等の講座を実施。 ナクソス・ミュージック・ライブラリー　参加15人 日経テレコン　参加10人 朝日新聞クロスサーチ　参加7人 分析：(1)ほぼ計画どおり実行。参加人数は昨年度より増加し、実施時のアンケートも高評価だった。しかしオンラインデータベースの認知度は低く、さらなる周知をし、利用促進を図る。	4/4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)デジタルサイネージを用いてのデータベースの周知 **主な手段**:デジタルサイネージにデータベースをPRするコンテンツを掲載する。 **目標**:9月末までに実施	実施状況：(1)3月にデジタルサイネージに以下のデータベース紹介のコンテンツを掲載した。 ・日経テレコン　・朝日新聞クロスサーチ　・官報 ・国立国会図書館デジタルコレクション（歴史的音源含む） ・ナクソス・ミュージック・ライブラリー 分析：(1)時期は遅れたが、本館に設置しているデジタルサイネージにコンテンツを掲載することで利用者に効果的に周知することができた。	3/4

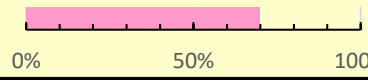
【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

オンラインデータベースの周知活動として各年度に講座を開催した。令和8年度の利用者モニタリング調査では「使いたいデータベース」として「新聞記事」が最も多く挙げられたが、既存の「日経テレコン」や「朝日新聞クロスサーチ」が十分に認知されていない可能性があるため、引き続きデータベースの周知を進める。

基本方針Ⅲ	市民の学びと活動の支援
計画項目	3.8.　ボランティア活動支援

計画項目別達成水準

70.0%（14/20）



方向性

ボランティア活動の生涯学習的側面を踏まえて、図書館サービスの充実に欠かすことのできない読み聞かせや、音訳その他の活動を積極的に支援するとともに、図書館サービスに係わるボランティア活動の機会や場所の提供など、協働して事業を実施するパートナーとして友好な協力体制の構築に努めます。また、研修会を開催するなど後継者となり得る新たな意欲あるボランティアへの参加者を育成していきます。

年度	事業計画の概要	自己点検評価		
令和3年度	**（1）新しい生活様式に対応したボランティア活動支援** **主な手段**：あげTUBEを利用したボランティアの活躍の場を設ける。 **目標**：年度内に実施 **（2）既存のボランティアへの活動の場の提供** **主な手段**：コロナ禍で感染症拡大防止に留意した図書館まつりを開催する。 **目標**：10月下旬～11月上旬の実施	実施状況	(1) 図書館まつりにおいて図書館ボランティアを講師として、動画「バースデーケーキをつくろう きょうはだれのたんじょうび」を制作し、10月30日から「あげTube」に掲載した。 (2) 秋の読書週間（10/27～11/9）に合わせ、新型コロナ感染拡大に留意した図書館まつりを開催した。	3/4
		分析	コロナ禍で開催することができない事業に対し、代替案として動画配信による事業を行うことで、中止することなく開催することができた。コロナ禍でボランティアの活躍の場の提供によって、活動意欲の維持につながったと考える。	
令和4年度	**（1）新しい生活様式に対応したﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動支援【継続】** **主な手段**：あげTUBEを利用したﾎﾞﾗﾝﾃｨｱの活躍の場を設ける。 **目標**：年度内に実施 **（2）既存のﾎﾞﾗﾝﾃｨｱへの活動の場の提供【継続】** **主な手段**：コロナ禍で感染症拡大防止に留意した図書館まつりを開催する。 **目標**：10月下旬～11月上旬の実施	実施状況	(1)あげTUBEに代わり、フェイスブックの特集<大切な一冊>に読み聞かせボランティアが登場し、活躍の場を提供した。また、同ボランティア養成講座を行い、新規入会者を募った。 (2)図書館ボランティアを講師として、「かぼちゃパイづくり」と「カスバーシアター」の2事業を実施した。□	2/4
		分析	(1)フェイスブック掲載により反響を期待したが、「いいね」の数は10以下に留まり、期待した効果にはつながらなかった。 (2)新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、ボランティアの協力のもと事業を実施したことが、意欲向上につながった。	
令和5年度	**（1）新しい生活様式に対応したﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動支援** **主な手段**：あげTUBE、デジタルサイネージなどを利用してボランティアの活躍や紹介の場を設ける。 **目標**：年度内に実施 **（2）既存のﾎﾞﾗﾝﾃｨｱへの活動の場の提供【継続】** **主な手段**：コロナ禍で感染症拡大防止に留意した図書館まつりを開催する。 **目標**：10月下旬～11月上旬の実施	実施状況	(1)ボランティアの意向により達成できなかった。 (2)ボランティアと協力して、「りんごが開くみんなの読書～いろいろな本にふれてみよう～」など、11事業開催。□	3/4
		分析	(1)引き続き、デジタルサイネージを活用したボランティアの活動支援の方法を模索する。 (2)計画通りに実施。令和6年度は効果的な開催期間を検討する。	
令和6年度	**(1)ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動支援** **主な手段**：デジタルサイネージなどを活用してボランティアの紹介の場を設ける。 **目標**：年度内に実施 **(2)おはなしﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ等への活動の場の提供【継続】** **主な手段**：図書館等で養成したおはなしボランティア等に対し、活動の場を設ける。 **目標**：10月～11月の実施	実施状況	(1)デジタルサイネージを活用して、読み聞かせボランティアの活動の様子を紹介をした。 (2)みんなとつながるおはなし会「大安吉日　おはなし会」として、4団体のボランティアでおはなし会を行った。	2/4
		分析	(1)計画通りに実施したが、デジタルサイネージでのボランティア紹介の効果については不明のため、デジタルサイネージの効果とともに今後は利用者アンケートにより把握したい。 (2)計画通りに実施。各ボランティアの特徴を生かしたおはなし会を行うことで子どもたちの読書推進、ボランティア支援を行うことができた。	
令和7年度	**(1)ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動支援** **主な手段**：おはなしボランティアのニーズに対応したスキルアップ講座の開催。 **目標**：年度内に実施 **(2)ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ等への活動の場の提供【継続】** **主な手段**：図書館等からボランティアを提案し、活動の場を設ける。 **目標**：年間3回以上提案する。	実施状況	(1)講座「紙芝居を知ろう　～その魅力と演じ方～　」を開催し、参加者には実践を通して、講師から指導してもらった。 (2)読み聞かせのまち あげお　～おはなし会　みんなあつまれ！～として、2団体のボランティアでおはなし会を行った。	4/4
		分析	(1)計画通りに実施。紙芝居の読み方を知ることができ、それぞれの活動に活かせるボランティア支援となった。 (2)計画通りに3回実施。子どもたちの読書への入り口としておはなし会を行うことで子どもたちの読書推進、ボランティア支援を行うことができた。	

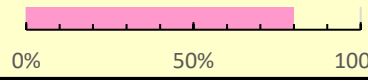
【計画期間評価】 ※令和3（2021）年度～令和7（2025）年度の総括

令和3年度から7年度にかけて、ボランティアに対する活動支援と活動の場の提供を継続して行った。例えば、活動支援としては、スキルアップ講座を開催したり、デジタルサイネージを活用して、読み聞かせボランティアの活動の様子を紹介をした。活動の場の提供としては、図書館等で養成したおはなしボランティア等に対し講座を開催することができた。

基本方針Ⅳ	時代に合わせた環境整備
計画項目	4.1.　学習活動環境の整備

計画項目別達成水準

80.0%（16/20）



方向性	学習活動の支援につながる学習席等の増設のほか、家庭でも職場・学校でもない第3の居場所「サードプレイス」としての役割を担えるよう、レイアウト変更など交流機能を含めた空間構築と環境整備を進めます。また、学びと活動の循環を生み出す地域住民の交流拠点として、市の関係部署と連携して事業を積極的に行います。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）レイアウト変更等による学習環境の整備 **主な手段**：本館のレイアウトの一部変更により、スペースを有効活用して、特に若年層向けの学習席を増設する。 **目標**：5席程度の増 **（2）学習環境の提供** **主な手段**：定期テスト前などの17時から19時、学習席を中・高校生専用に開放する。 **目標**：2学期からの実施	実施状況	(1)新聞コーナー及びセカンドライフコーナーを移動し、1階ロビー東側に学習席を8席設置。 (2)「自主勉強タイム」として、テスト前に中・高校生専用に集会室を開放するイベントを企画したが、新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度は実施を見送った。
		分析	(1)計画通り実施。しかし、スペースを一部余らせてしまったので、令和4年度はレイアウト等を考え直し、より良い学習環境の整備が必要。 (2)実施なし。モニタリング結果から学習スペースの要望も多く見られたため、引き続き実施を検討する。
			3/4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）レイアウト変更等による学習環境の整備【継続】 **主な手段**：新規で机及び椅子を設置し、学習席の増設を行う。 **目標**：計8席程度 **（2）図書館内でグループワーク等のできる環境整備** **主な手段**:学習席の一部をグループワーク等の交流の場として開放する。 **目標**：年度内に実施	実施状況	(1)本館に昨年度学習席として設置した既存の長テーブルを撤去し、個別に仕切られた学習机と椅子を新調した。(8席→12席) (2)(1)で設置したプライベートスペースの学習席とは別に、一対の机と椅子を3席設置した。
		分析	(1)モニタリング調査で、まだ席数の不足の声が多くあることから、今後も更なる学習スペースの拡大に向けた工夫が必要である。 (2)交流の場としての機能までは満たせなかったが、少人数での利用が可能な座席スタイルは一歩前進であると考える。
			3/4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）館内空間を利用した学習機会の創出 **主な手段**：本館集会室等を利用し、他部署との連携も視野に入れた学習イベントを開催する。 **目標**：令和5年度中に実施 **（2）学習環境の整備** **主な手段**：既存の机や椅子の配置を変更し、学習席の増設を行う。 **目標**：令和5年9月末までに実施（4席程度）	実施状況	(1)生涯学習課と連携し、上尾の歴史講座を開催。郷土資料電子化及びデジタルサイネージについてPRを実施した。 (2)本館1階ロビーに2席の学習席を追加した。
		分析	(1)参加者に上尾市電子図書館と郷土資料にPRが出来た。今後、コンテンツを充実させ、更なる周知を図る。 (2)令和6年度の市民アンケートで、学習スペースについて「満足・ほぼ満足」が約10%近く向上した。今後はスペースの工夫により更なる増設を検討する。
			4/4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)学びと活動の場としての空間構築 **主な手段**:椅子等を購入し、分館(室)で学習に利用できる席を設置する。 **目標**:令和6年9月末までに実施(2席程度)	実施状況	(1)平方分館に学習席兼閲覧席を2席分新調し設置(令和7年3月)。
		分析	(1)令和7年度実施の市民アンケートおよびモニタリング調査の結果では、学習席の増設を求める声は多い。増設には現状のスペースを有効活用するための創意工夫が必要である。
			4/4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)学びと活動の場としての空間構築【継続】 **主な手段**:椅子等を購入または既存の備品を活用し、本館及び分館(室)で学習に利用できる席を設置。 **目標**:令和8年3月末までに実施(2席程度)	実施状況	(1)図書館本館に1席増設。
		分析	(1)令和7年度はスペースの確保や本館改修の状況を踏まえ、1席の増加とした。既存備品等の活用を含めて、計画的な学習活動環境の整備に努める。
			2/4

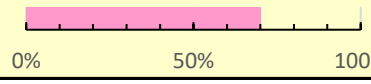
【計画期間評価】※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

計画期間中において、既存スペースのレイアウトの見直し、学習席を計画的に増設し、環境を整備することができた。引き続き、本館改修や仮本館整備において学習活動環境を適切に確保するとともに、学習スペースの拡充を検討する。

基本方針Ⅳ	時代に合わせた環境整備
計画項目	4.2.　運営

計画項目別達成水準

70.0%（14/20）



方向性	市民が安心して利用できるよう図書館資料と情報の安定した管理体制を維持するとともに、ＩＣＴ設備の導入などによる効率的な図書館運営を進めます。また、良質な図書館サービスを提供するための効率的かつ効果的な運営手法について調査・研究を進め、業務委託内容の見直し等も含め、今後のさらなる改善につなげます。

年度	事業計画の概要	自己点検評価	
令和3年度	**（1）図書館業務のさらなる委託化** **主な手段**：窓口業務を長期継続契約とし、改善に繋がるよう仕様を変更することで民間活力導入効果を促進する。 **目標**：仕様書改訂箇所10項目以上	実施状況：長期継続契の締結により、委託料の削減を実現するとともに、安定した窓口サービスの提供が実現できた。仕様書については、新型コロナウイルス感染拡大防止策の資料清掃業務等を追加し、10項目以上の改訂を行った。 分析：コロナ禍において、安定的な開館を継続できたことは評価に値する。また、モニタリング結果から窓口業務の満足度は高く、これについても評価できる。民間活力導入に関しては画期的な展開が図れなかったので、次年度取り組んでいく。	3/4
令和4年度	**（1）委託業者の更なる活用** **主な手段**：窓口業務の委託業者による民間ノウハウを生かした新たな事業の実現を図る。 **目標**：新規イベントの実現1事業 **（2）ICT設備の導入に向けた計画策定** **主な手段**：ICT設備未導入の施設において、図書館更新計画にあわせ、導入に向けた計画案を策定する。 **目標**：計画案3案策定	実施状況：(1)図書館まつりでは、窓口業務の委託業者による分館・公民館図書室の紹介のパネル展示を実施。 (2)政策企画提案制度の利用を見込んで2案の計画を策定。 ①自動貸出機　②デジタルサイネージ 分析：(1)本館の利用者に対し、分館・公民館図書室について現地スタッフの視点でPRし、それぞれの魅力を発信することができた。 (2)②は上記制度の採用により今後具体的運用を進める。①は導入には至らなかったが、モニタリング調査の結果からも要望は多くあることから引き続き導入に向けての検討を継続する。	3/4
令和5年度	**（1）ICTを活用した新たな情報発信** **主な手段**：デジタルサイネージ導入を見据えた新たな情報発信ツールを活用し館内の利用案内やイベントスケジュール、日々の新着情報をアナウンスする。 **目標**：図書館本館来館者数前年度比１割増 **（２）図書館システムの更改** **主な手段**：現在稼働中の図書館システムの更新時期に合わせ、より利用しやすいシステムの導入に向けた仕様書を作成する。 **目標**：年度末までに作成（関係業者3社から実機検証を行う）	実施状況：(1)デジタルサイネージを導入し、利用案内等について情報発信を始めた。本館の来館者数は1割増には至らなかった。 (2)現行システム以外のメーカーのデモンストレーションを受けサービスの比較検討を実施。また、庁内コンセンサスを得るため申請、承諾を得る。 分析：(1)利用者増加の為にはコンテンツの充実が必達と考える。魅力的な利用案内のコンテンツを今後の課題として取り組む。 (2)比較検討の結果、現行システムの継続使用を決定したが、今後、Windows10のサポート終了も踏まえ、引き続き図書館システム更改に向けた研究を進める必要がある。	3/4
令和6年度	**(1)ICTを活用した新たな情報発信【継続】** **主な手段**:デジタルサイネージを活用し、館内の利用案内やイベントスケジュール、日々の新着情報をアナウンスする。 **目標**:図書館本館来館者数前年度比1割増 **(2)図書館システムの更改【継続】** **主な手段**:既存のシステムを含め、実機でのデモンストレーション等を行い、利便性や操作性について比較し、システム更改に向けた機能仕様書を作成する。 **目標**:令和7年3月末までに作成	実施状況：(1)デジタルサイネージを活用し、イベントや新着情報等の積極的な情報発信を図った。本館来館者数は増加したものの、その割合は約5%強に留まった。 (2)機能仕様書作成の上、公募型プロポーザル実施（令和6年12月）により契約候補者を選定。 分析：(1)増加割合が目標値には届かなかったことから、更なる来館者数増加に向け、新たなコンテンツ等の情報発信について創意工夫する必要がある。 (2)新システムは既存システムの後継であり、操作性の大幅な変更は無いことから利用者への影響は最小限に留めることが出来、尚且つ機能のバージョンアップが図られた。	3/4
令和7年度	**(1)ICTを活用した新たな情報発信【継続】** **主な手段**:デジタルサイネージを活用し、館内の利用案内やイベントスケジュール、日々の新着情報をアナウンス発信。 **目標**:図書館本館来館者数前年度比1割増 **(2)図書館システムの更改【継続】** **主な手段**:システム更改に対応した新システムのマニュアルの作成。 **目標**:令和7年度中に完成	実施状況：(1)デジタルサイネージを活用し、イベントや新着情報等の積極的な情報発信を図った。本館来館者数は前年度比で約1割の減となった。 (2)システム更改およびマニュアル整備を実施。 分析：(1)デジタルサイネージを含めた図書館情報の発信を行ったが、目標が未達成となった。より効果的な情報発信について創意工夫する必要がある。 (2)令和7年10月から新システムを稼働し、操作研修やマニュアル整備を行い、安定した稼働ができている。	2/4

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

本館にデジタルサイネージを導入し、情報発信を強化することができた。また、システム更改によりLINE連携などの新機能を導入し、利用者の利便性向上につなげることができた。
引き続き、市民に安心して利用いただける図書館運営につながるよう、安定した運用と利便性の向上に務める。

基本方針Ⅳ	時代に合わせた環境整備

計画項目別達成水準	
100.0% (20/20)	0% 50% 100%

計画項目	4.3.　職員体制

方向性	図書館職員については、図書館運営が安定して継続的に行えるよう、現行制度の中で、専門知識を持った司書有資格者や行政全般にわたり知識と経験のある職員の配属を可能な限り進めるとともに、各職員の技能向上を積極的に推進します。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 司書及び専門技能の有資格者配置推進 **主な手段**：配置要望の継続的な実施と技能取得の推奨により、適正な職員配置を維持する。 **目標**：司書等技能取得者比率50%以上（会計年度任用職員含む） **(2) 図書館専門技能講習等への派遣、受講** **主な手段**：著作権やレファレンス、その他サービスに関する知識・技能向上のための研修に職員を積極的に派遣する。 **目標**：10名以上	実施状況：(1)今年度、新規に司書有資格者を1人確保。また配属職員の司書等技術取得者50%以上を達成 。 (2)著作権、児童サービス、青少年サービス等に関連する研修に参加。今年度24名実施。 分析：(1) 司書有資格者及び技能取得者61.9%（会計年度任用職員含む）を達成。 (2) コロナ禍によりオンライン研修が増えたが、積極的に研修に参加し、知識・技能向上に努めた。	4/4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 司書及び専門技能の有資格者配置推進【継続】 **主な手段**：配置要望の継続的な実施と技能取得の推奨により、適正な職員配置を維持する。 **目標**：司書等技能取得者比率50%以上（会計年度任用職員含む） **(2) 図書館専門技能講習等への派遣、受講【継続】** **主な手段**：著作権やﾚﾌｧﾚﾝｽ、その他ｻｰﾋﾞｽに関する知識・技能向上のための研修に職員を積極的に派遣。また、研修内容を館内職員研修へ反映し、職員全体の資質向上を図る。 **目標**：派遣者10名以上	実施状況：(1)今年度、配属職員の司書等技術取得者50%以上を達成 。 (2)著作権、児童サービス、青少年サービス等に関連する研修に参加(参加人数延べ45名)。 分析：(1)司書及び専門技能を有する職員が適正に配置されたことにより、著作権法やレファレンス等に係る市民対応を適切に行った。 (2)研修へ積極的に参加し、目標を達成した。次年度も適切に派遣研修やOJTを実施することが望ましいと考える。	4/4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 司書及び専門技能の有資格者配置推進【継続】 **主な手段**：配置要望の継続的な実施と技能取得の推奨により、適正な職員配置を維持する。 **目標**：司書等技能取得者比率50%以上（会計年度任用職員含む） **(2) 図書館専門技能講習等への派遣、受講【継続】** **主な手段**：著作権やﾚﾌｧﾚﾝｽ、その他ｻｰﾋﾞｽに関する知識・技能向上のための研修に職員を積極的に派遣。また、研修内容を館内職員研修へ反映し、職員全体の資質向上を図る。 **目標**：派遣者10名以上	実施状況：(1)司書等技能習得者比率80%を達成。前年度比、図書館司書有資格者が2名増えた。 (2)10月末現在、知識・技能向上を目的とした研修等へ10名の職員を派遣した。 分析：(1)目標達成。図書館業務の専門性が担保され、サービスの強化を図ることができた。 (2)研修受講者の図書館業務の知識・技能の取得に加えて、研修報告を通じ職員全体の資質向上を図ることができた。	4/4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)司書及び専門技能の有資格者配置推進【継続】 **主な手段**:配置要望の継続的な実施と技能取得の推奨により、適正な職員配置を維持する。 **目標**:司書等技能取得者比率50%以上(会計年度任用職員含む) **(2)図書館専門技能講習等への派遣、受講【継続】** **主な手段**:著作権やﾚﾌｧﾚﾝｽ、その他ｻｰﾋﾞｽに関する知識・技能向上のための研修に職員を積極的に派遣。また、研修内容を館内職員研修へ反映し、職員全体の資質向上を図る。 **目標**:派遣者10名以上	実施状況：(1) 今年度、配属職員の司書等技術取得者70%以上(管理担当職員を含めた場合50%以上)を達成 。 (2)著作権、児童サービスなどの研修に職員を派遣(14名)。 分析：(1) 目標達成。図書館業務の専門性が担保され、サービスの強化を図ることができた。 (2) 研修受講者による研修報告を通じ、職員全体の知識向上に繋げることで、利用者対応への時間短縮に繋げられた。	4/4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)司書及び専門技能の有資格者配置推進【継続】 **主な手段**:配置要望の継続的な実施と技能取得の推奨により、適正な職員配置を維持。 目標:司書等技能取得者比率50%以上(会計年度任用職員含む) **(2)図書館専門技能講習等への派遣、受講【継続】** **主な手段**:著作権やﾚﾌｧﾚﾝｽ、その他ｻｰﾋﾞｽに関する知識・技能向上のための研修に職員を積極的に派遣。また、研修内容を館内職員研修へ反映し、職員全体の資質向上を図る。 目標:派遣者10名以上	実施状況：(1)司書等技能習得者比率50%以上を達成。 (2)著作権、児童サービスなどの研修に職員を派遣(11名)。 分析：(1)目標達成。図書館業務の専門性が担保され、サービスの強化を図ることができた。 (2)研修受講者による研修報告を通じ、職員全体の知識向上に繋げることで、利用者対応への時間短縮に繋げられた。	4/4

【計画期間評価】※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

計画期間中を通して、司書等の技能習得者が継続して配属された。また、毎年度一定数以上の職員が研修を受講し、その結果を報告することができた。これらの取り組みを通じて、図書館運営において安定したサービス提供に寄与することができた。

基本方針Ⅳ	時代に合わせた環境整備
計画項目	4.4.　施設・設備

計画項目別達成水準

100.0%（20/20）

0%　50%　100%

方向性	現在の図書館網を可能な限り維持し、各地域の住民にとって利便性の高い全域サービスの展開に努めます。また、老朽化が進む施設については、利用者が安心・安全に利用できる水準の確保を第一に考えて必要な措置を講じます。その上で、施設の改修や図書館網の整理等については、市の公共建築物の計画の中で公共施設マネジメントとの整合性を図りながら取り組んでいきます。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）上尾市公共建築物管理実施計画の実行 **主な手段**：施設の老朽化対策について、実施計画に沿って、モデルケースの選定とケース別シナリオの作成を行う。 **目標**：年度内に完了 **（2）施設の安心安全及び利便性確保** **主な手段**：維持保全等工事・修繕の適切な履行 **目標**：工事又は修繕5箇所以上	実施状況	（1）図書館本館の老朽化に対し、3つのモデルケースを選定し、それぞれのモデルケースのコストシュミレーション、シナリオの作成を行った。 （2）既存施設の工事・修繕による維持保全についても、年間14件の発注を行い、維持保全に努めた。	4/4
		分析	(1)今後は作成したシナリオを基に、庁内調整や議会説明を経て、コンセンサスを得ていく必要があるため、対内外的な説明資料等の作成に努める必要がある。 (2)施設の安全性・利便性は、不良箇所の修復、LED化等を通じてより一層向上していく必要がある。	

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）上尾市公共建築物管理実施計画の実行【継続】 **主な手段**：選定した複数のモデルケースについて庁内調整を実施し、市民説明用資料を作成する。 **目標**：年度内に完了 **（2）修繕の履行及びLED照明器具設置による維持管理** **主な手段**：各分館の照明の照度を測定し、照度の低い箇所よりLED化を図る。 **目標**：2施設/年間以上の照明の照度測定、照明器具5基/年以上のLED化	実施状況	(1)確立した3つのモデルケースについて庁内のコンセンサスを得た。また、次年度の市民ワークショップに向け、市民説明用の基礎資料を作成した。 (2)すべての図書館の照度測定を完遂。そのうえで、照度の低い箇所を選定し、照明器具29基(34灯)のLED化を図った。	4/4
		分析	(1)対外的なコンセンサスを得るため、市民説明資料やワークショップをブラッシュアップし、市民と共に本館の更新計画の策定に向けて取り組む必要がある。 (2)LED化により、照度の確保と省エネに繋げた。 使用電力量：260,023kw/h（R3）→246,532kw/h（R4）	

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	（1）上尾市公共建築物管理実施計画の実行【継続】 **主な手段**：ワークショップおよびパブリックコメントによる図書館本館更新**方針**における市民意見聴取の実施。 **目標**：年度内に**方針（案）を作成** **（2）老朽化設備の更新・修繕** **主な手段**：各館の老朽化の著しい機械・電気設備の利便性の向上を図ることを目的に設備の更新・修繕を図る **目標**：３箇所/年以上の更新・修繕	実施状況	(1)モニタリング調査・ワークショップ・座談会を経て市民意見聴取を実施し、更新方針（案）を作成した。 (2本館・分館含め、主に既存設備の故障、不具合の解消のための修繕を実施した。（本館13件、分館3件）	4/4
		分析	(1)予定通り年度内に方針（案）を作成したことで、令和6年度に計画しているパブリックコメントのスムーズな実施につながった。 (2)目標値を大幅に超える修繕の実施は、施設の老朽化の著しさによるものと分析する。	

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)上尾市公共建築物管理実施計画の実行【継続】 **主な手段**:パブリックコメントによる市民意見の聴取。 **目標**:令和6年度上半期中に上尾市図書館本館更新方針の策定を完了 **(2)書架の照明改善** **主な手段**:たちばな分館書架部分の照明器具を、LEDに交換する。 **目標**:開架の蛍光灯をすべてLEDに変更	実施状況	(1)パブリックコメントを経て、上尾市図書館本館更新方針を策定（令和6年8月）。 (2)たちばな分館の照明器具のLED化を実施（108本）。	4/4
		分析	(1)上尾市図書館本館更新方針に基づき、本館並びに仮本館の整備に向けた準備はスケジュール通りに進んでいる。 (2)LED化による照度の確保と省エネに繋げた。たちばな分館は建物自体が比較的新しく、今後、長期活用が確実であることから着手に至った。	

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)図書館本館改修にあたっての設計業務の完遂【継続】 **主な手段**:本館の更新に向け、設計業務の準備と並行し、市民ワークショップを実施し、市民意見やニーズを聴取 **目標**:上半期中に市民ワークショップを実施、令和7年度中に基本設計の完成 **(2)本館改修工事期間における仮本館の開館準備【新規】** **主な手段:**仮本館の開館に向けたテナント先との合意形成を図り、令和8年度に向けた諸手続きを進める。 **目標:**移転に伴う合意形成および諸手続きの完遂	実施状況	(1)設計業務における委託契約締結。業者による躯体調査など随時、実施。また、市民ワークショップを2回を実施し、市民ニーズを反映したゾーニング等を採用した基本設計が完成した。 (2)仮本館整備における合意形成として、丸広百貨店と「図書館出店確認書」（4月）および「設計業務に関する協定書」（7月）を締結。	4/4
		分析	(1)ワークショップを通して市民ニーズを聴取することで、複数パターンのゾーニングを比較したうえで基本設計を完成することができた。 (2)計画どおりに実施。仮本館整備に向けて合意形成を図りながら開館準備を進めることができた。	

【計画期間評価】※令和3（2021）年度～令和7（2025）年度の総括

計画期間中の各年度において、公共施設マネジメント計画を踏まえて、施設の安全性を確保するための修繕等を行った。また、図書館本館改修に着手するとともに、仮本館の開館準備を開始した。引き続き利便性と安全性を確保した施設の整備、改修及び修繕を行う必要がある。

基本方針Ⅳ	時代に合わせた環境整備
計画項目	4.5.　安全管理

計画項目別達成水準

100.0%
(20/20)

0%　50%　100%

方向性	事故、災害その他の非常事態による被害を防止するため、危機管理の手引書を作成し、定期的な訓練を実施します。また、防災上及び衛生上の設備点検については、法令その他の規定に基づき点検を実施し、安全確保に努めます。

令和3年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 避難訓練の実施及び手引書の作成 **主な手段**：消防計画等を見直し、避難訓練の実施する。その後手引書等を整備する。 **目標**：本館、瓦葺分館 **(2) サーマルカメラの設置** **主な手段**：新型コロナウイルス感染症まん延防止策として、図書館入口にサーマルカメラを設置する。 **目標**：本館及び5分館に設置	実施状況	(1)消防計画の内容について、精度の高い内容に修正を行い、所管施設各館について適切な訓練を実施した。また、より訓練参加者が訓練中の動きを把握できるよ手引書等を整備した。 (2)サーマルカメラも6台設置し、新型コロナウイルス感染症まん延防止策として施した。	4
		分析	(1)より精度の高い訓練の実現が図れた。今後も一層精度の高い訓練や手引書の作成に努める必要がある。 (2)設置による更なる新型コロナウィルス感染防止対策が図れたが、季節により異常値が検出されるため適切な運用の確立が今後の課題である。	/4

令和4年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 法定点検等の履行による事故・災害の防止 **主な手段**：法令に基づいた防災上、安全確保並びに衛生環境保持を目的とする点検を実施する。 **目標**：法定点検の履行及び点検結果に基づいた指摘箇所の改善 **(2) 防災面の強化及び安全性の向上** **主な手段**：避難訓練手引書等の見直し及び図書館各館の消防点検・避難訓練等を実施する。 **目標**：消防点検1回/年以上の履行、避難訓練又は消防に関する研修の1回/年以上の実施	実施状況	(1)建築基準法、消防法、フロン排出抑制法に基づく点検を実施した。また、本館誘導灯のバッテリー不良について適切に交換作業を行った。 (2)本館、瓦葺分館において最新の手引書に従い避難訓練を実施した。同様に年1回の消防設備点検も履行した。	4
		分析	(1)指摘箇所については優先度を見極め随時改修をしているが、老朽化する各施設の不具合は日々発生しているため、優先順位を精査し順次対応する必要がある。 (2)訓練実施時に、消防器具についての研修を実施。普段関わらない設備を知る機会であり今後も継続する必要がある。	/4

令和5年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1) 法定点検等の履行による事故・災害の防止【継続】 **主な手段**：法令に基づいた防災上、安全確保並びに衛生環境保持を目的とする点検を実施する。 **目標**：法定点検の履行及び点検結果に基づいた指摘箇所の改善 **(2) 防災面の強化及び安全性の向上【継続】** **主な手段**：図書館各館の消防点検と、最新の手引書に基づいた避難訓練を実施する。 **目標**：消防点検1回/年以上の履行、避難訓練又は消防に関する研修の1回/年以上の実施、問題点の改善	実施状況	(1)消防設備、空調・衛生設備、自家用電気工作物、自動ドア、エレベータ点検については適宜実施。建築設備点検は2月に実施した。 (2)本館：最新の手引書に基づく避難訓練を実施(9月) 瓦葺分館：令和6年3月実施。	4
		分析	(1)建築設備点検において非常照明・誘導灯の不良箇所が指摘されているため、令和6年度に対応する必要がある。 (2)消防点検の結果、機器の不良箇所の発見に至った。また消防避難訓練では消防職員を招聘しての消火訓練の実施など、防災面の強化を図った。	/4

令和6年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)法定点検等の履行による事故・災害の防止【継続】 **主な手段**：法令に基づいた防災上、安全確保並びに衛生環境保持を目的とする点検を実施する。 **目標**：法定点検の履行及び指摘箇所の把握 **(2)防災面の強化及び安全性の向上【継続】** **主な手段**：図書館各館の消防点検と、最新の手引書に基づいた避難訓練を実施する。 **目標**：消防点検1回/年以上の履行、避難訓練又は消防に関する研修の1回/年以上の実施、問題点の改善	実施状況	(1)①消防②空調・衛生設備③自家用電気工作物④自動ドア⑤エレベータ⑥建築物および建築設備の保守点検を実施(本館・瓦葺分館)。 (2)最新の手引書に基づく避難訓練を実施(本館：9月、瓦葺分館：2月)。プラスアルファでAEDの訓練を導入。	4
		分析	(1)各点検結果としてあげられた指摘箇所について、優先順位を適切に判断し改修、改善に努める。 (2)職員のみならず、委託業者（ｶｳﾝﾀｰｽﾀｯﾌ）も一体となり実施したことは有益だと考える。またAED訓練は図書館に留まらない広範囲での活用が期待できる。	/4

令和7年度	事業計画の概要	自己点検評価	
	(1)法定点検等の履行による事故・災害の防止【継続】 **主な手段**：法令に基づいた防災上、安全確保並びに衛生環境保持を目的とする点検を実施。 **目標**：法定点検の履行及び指摘箇所の把握と改善 **(2)防災面の強化及び安全性の向上【継続】** **主な手段**：図書館各館の消防点検と、最新の手引書に基づいた避難訓練を実施。 **目標**：消防点検1回/年以上の履行、避難訓練又は防災に関する研修の実施　1回/年以上、問題箇所の改善。	実施状況	(1)消防設備、空調・衛生設備、自家用電気工作物、自動ドア、エレベータの点検を適宜実施。点検結果の指摘事項について修繕、改修。 (2)本館：最新の手引書に基づく避難訓練(消防職員派遣)およびAEDの起動訓練を実施(9月)。瓦葺：2月実施。	4
		分析	(1)各点検結果としてあげられた指摘箇所について、優先順位を適切に判断し改修、改善に努める。 (2)職員のみならず、委託業者（ｶｳﾝﾀｰｽﾀｯﾌ）も協力して実施できたことは、実践的であり大きな成果であった。またAED訓練では緊急時に命を救うための手順を習得できた。	/4

【計画期間評価】※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

施設設備の法定点検を適切に実施した。指摘箇所については安全性を確認した上で、優先順位を判断して改善に務めた。引き続き、安全性を確認しながら改善を行う。